

黒石市教育委員会告示第1号

黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、平成29年度黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書を作成したので、別紙のとおり告示する。

平成30年1月26日

黒石市教育委員会教育長 山内孝行

平成29年度

黒石市教育委員会の事務の点検
及び評価に関する報告書

(平成28年度事業分)

平成30年1月
黒石市教育委員会

ま え が き

黒石市教育委員会では、郷土に誇りを持ち、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指し、心豊かでたくましく文化やスポーツに親しむ市民の育成と、個性豊かで活みなぎる地域社会の建設を目指す教育の推進に努めております。

そして、今後の効果的な教育行政の推進並びに市民への説明責任を果たすことを目的に、毎年度定めている「黒石市教育施策の方針」に基づき、事務が適切に実施されているか点検し、評価を行い、更に外部の学識経験者からの評価を受け、その結果を報告書としてまとめております。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、本市の教育と市教育委員会の取組みについて、少しでも理解を深めていただければ幸いです。

今後も、教育施策の推進に努めて参りますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この報告書は、冊子によるほか、黒石市のホームページにより公表いたします。

平成30年1月

黒石市教育委員会

◇ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

第1章 点検及び評価の概要

1 点検・評価にあたって

- (1) 点検・評価の方法..... 1
- (2) 点検・評価の対象..... 2

第2章 教育委員会活動

1 組織体制

- (1) 教育委員..... 3
- (2) 教育委員会組織..... 3
- (3) 教育委員会事務分掌..... 4

2 委員会の活動概要

- (1) 教育委員会会議..... 8
- (2) その他の教育委員の活動..... 11

第3章 点検及び評価結果

平成28年度黒石市教育委員会重点施策

1 夢や志を支え、知・徳・体が調和する学校教育の推進

- (1) 確かな学力の育成..... 13
- (2) 教員の資質向上..... 14
- (3) 教育相談の充実..... 16
- (4) 不登校児童生徒の解消..... 17
- (5) 特別支援教育の充実..... 18
- (6) 学校適正配置の推進..... 19
- (7) 学校完全給食の実現..... 20
- (8) 学校施設・設備の整備..... 20
- (9) 学校教育環境の整備..... 22
- (10) 就学の援助..... 24

2 家庭や地域での学びを生かし、つながりを大切にする社会教育の推進

- (1) 青少年への教育活動の充実..... 28
- (2) 成人への教育活動の充実..... 30
- (3) 家庭教育の支援..... 31
- (4) 地域教育力の向上..... 33
- (5) 読書環境の充実..... 36
- (6) 社会教育施設の充実..... 39
- (7) キャリア教育の推進..... 41

3 歴史と文化を尊重し、感性と創造力を高める芸術文化活動の推進

- (1) 文化財の保存と活用..... 44
- (2) 地域の歴史・文化の継承..... 46
- (3) 芸術文化活動の推進..... 47

4 心身の健康を保ち、活力と感動を生み出すスポーツ活動の推進

- (1) 一市民一スポーツの推進..... 52
- (2) スポーツ施設の充実..... 54

第4章 事務点検評価委員による意見（総括）

- 黒石市教育委員会事務点検評価委員長 岡村 静市..... 57
- 黒石市教育委員会事務点検評価委員 久保 正彦..... 59
- 黒石市教育委員会事務点検評価委員 石沢 由彦..... 60

黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書

第 1 章 点検及び評価の概要

1 点検・評価にあたって

(1) 点検・評価の方法

点検評価した内容を次年度以降の重点施策・事業計画の策定に活かすため、P D C Aサイクルを基本としました。

① 計画 (P l a n)

黒石市教育施策の方針を基本として毎年度3月に重点施策を策定し、学校教育・社会教育・スポーツ活動・芸術文化活動の各施策を推進するために、具体的な取組み(事業)を計画しています。

② 実績 (D o)

計画に沿って事業が行われているか点検するため、平成28年度の事業実績をまとめました。

③ 点検・評価 (C h e c k)

ア 自己点検・評価

各課が行うべき施策に沿った事業の計画が行われ、適正に実施されているか振り返り、成果や反省点等をまとめました。

イ 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った点検・評価(成果、課題等)の結果について、選任した学識経験者3名から意見をいただきました。

※ 黒石市教育委員会事務点検評価委員会委員

石 沢 由 彦 氏

岡 村 静 市 氏

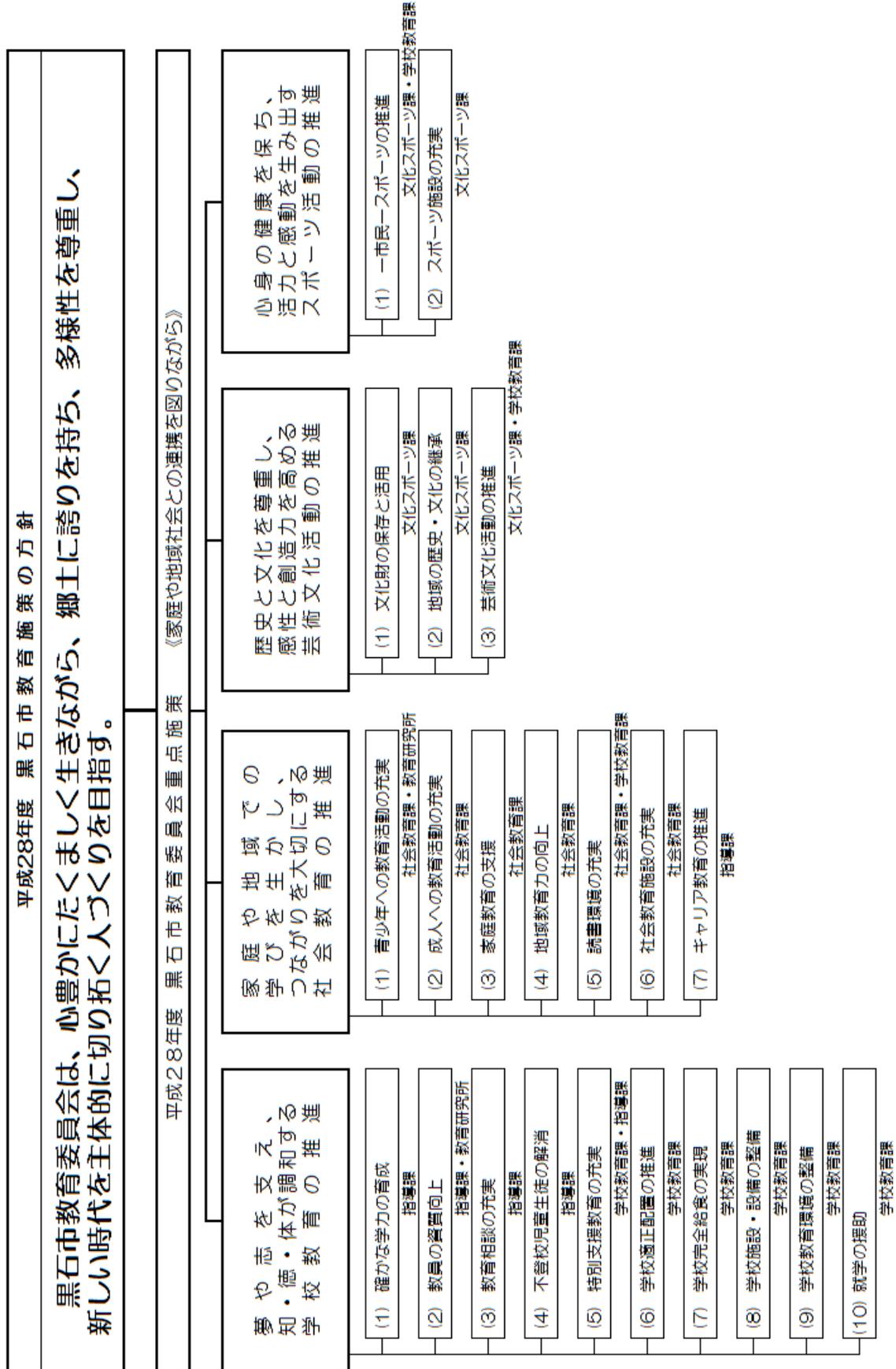
久 保 正 彦 氏

④ 今後の方向 (A c t i o n)

平成28年度の事業実績による自己点検評価及び外部評価を踏まえ、平成30年度の施策の方向性及び事業計画を検討します。

(2) 点検・評価の対象

自己点検・評価については、平成28年度の教育委員会の重点施策を基に行いました。



第2章 教育委員会活動

1 組織体制

(1) 教育委員

H28. 4. 1－H28. 11. 20

職名	氏名	任期	備考
委員長	村上良子	H26. 3. 18－H30. 3. 17 (2期)	
委員	津軽承公	H24. 11. 21－H28. 11. 20 (2期)	委員長職務代行者
委員	千葉小夜子	H24. 11. 21－H28. 11. 20 (1期)	
委員	駒井順一	H26. 12. 24－H30. 12. 23 (1期)	
教育長	阿保淳士	H24. 11. 21－H28. 11. 20 (1期)	

H28. 11. 21－H29. 3. 31

職名	氏名	任期	備考
教育長	山内孝行	H28. 11. 21－H31. 11. 20 (1期)	
委員	村上良子	H26. 3. 18－H30. 3. 17 (2期)	職務代理者
委員	駒井順一	H26. 12. 24－H30. 12. 23 (1期)	
委員	宇野元雄	H28. 11. 21－H32. 11. 20 (1期)	
委員	鈴木美香	H28. 11. 21－H31. 11. 20 (1期)	

(2) 教育委員会組織

事務局	学校教育課	総務係、学務係
	指導課	
	社会教育課	社会教育係、地域支援係
	文化スポーツ課	文化スポーツ係、文化財係
教育機関	幼稚園 (1校)	黒石幼稚園
	小学校 (10校)	黒石小学校、六郷小学校、上十川小学校、中郷小学校、北陽小学校、東英小学校、牡丹平小学校、浅瀬石小学校、追子野木小学校、黒石東小学校
	中学校 (4校)	黒石中学校、六郷中学校、中郷中学校、東英中学校

	教育研究所	
	公民館（10館）	黒石公民館（休館）、中郷公民館、六郷公民館、山形公民館、浅瀬石公民館、東公民館、中部公民館、牡丹平公民館、追子野木公民館、上十川公民館
	ほるぷ子ども館	
委任機関	市民文化会館（休館）、スポカルイン黒石、西部地区センター、青少年相談センター、勤労青少年ホーム、中央スポーツ館、武道場、農村環境改善センター	

(3) 教育委員会事務分掌

<p>学校教育課</p> <p>総務係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会議に関する事。 ・教育委員の学校訪問に関する事。 ・教育委員の庶務に関する事。 ・規則及び規程の制定、改廃及び公布に関する事。 ・公印の制定及び管理に関する事。 ・職員（県費負担教職員を除く。）の任免その他の人事に関する事。 ・教育行政についての総合的企画及び実施の調整に関する事。 ・予算及び決算の総括に関する事。 ・文書の収受に関する事。 ・市立学校図書館図書購入基金に関する事。 ・教育委員会事務点検評価に関する事。 ・市立学校に係る財産の管理に関する事。 ・市立学校の施設の営繕及び保全に関する事。 ・市立学校の管理備品の整備に関する事。 ・市立学校の施設の建築等に関する事。 ・市立小学校及び中学校施設等の使用許可に関する事。 ・市立学校の公有財産の取得及び用途廃止等に関する事。 ・事務局内各課及び学校その他の教育機関との連絡調整に関する事。 ・他の課に属しない事務に関する事。 ・課の庶務に関する事。
--

学務係

- ・市立学校の設置及び廃止に関する事。
- ・区域外児童及び生徒の教育事務委託に関する事。
- ・通学区域に関する事。
- ・学級編制に関する事。
- ・児童、生徒及び幼児の就学並びに入学及び転学に関する事。
- ・教科用図書の給付及び給与に関する事。
- ・教材及び教具の整備等に関する事。
- ・就学援助及び特別支援教育就学奨励に関する事。
- ・県費負担教職員(以下「教職員」という。)の服務その他の人事に関する事。
- ・学校保健活動に関する事。
- ・学校給食に関する事。
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
- ・市立幼稚園の就園に関する事。
- ・私立幼稚園の就園奨励に関する事。
- ・就学指導委員会に関する事。
- ・市立小学校及び中学校の適正配置に関する事。
- ・その他学務に関する事。

指導課

- ・教育課程の編成、実施管理及び評価に関する事。
- ・学習指導、生徒指導及び進路指導等学校教育に係る指導に関する事。
- ・教職員の研修に関する事。
- ・研究発表会及び研究助成に関する事。
- ・教科用図書の採択に関する事。
- ・教科用図書及びその他の教材の取扱いに関する事。
- ・学校行事及び学校の休業に関する事。
- ・児童生徒の事故に関する事。
- ・教育研究団体の育成に関する事。
- ・幼稚園、小学校及び中学校の連携に関する事。
- ・幼稚園教育に係る専門的事項の指導に関する事。
- ・教育相談及び学習適応指導教室に関する事。
- ・外国語指導助手に係る事務及び活用に関する事。

- ・中学生海外派遣事業に関する事。

社会教育課

社会教育係

- ・社会教育行政中期計画の策定に関する事。
- ・社会教育に関する講座、講習会及び研修会に関する事。
- ・家庭教育の推進に関する事。
- ・学校教育・社会教育の連携推進に関する事。
- ・成人式及び実年式に関する事。
- ・生涯学習に関する事。
- ・社会教育委員及び社会教育指導員に関する事。
- ・少年団体育成指導委員に関する事。
- ・高校生ボランティア活動及び同表彰審査会に関する事。
- ・青少年の海外派遣に関する事。
- ・その他社会教育に関する事。

地域支援係

- ・コミュニティ活動の支援に関する事。
- ・社会教育施設の整備計画等に関する事。
- ・社会教育団体の支援及び助言並びに連絡調整に関する事。
- ・公民館に関する事。
- ・婦人会館に関する事。
- ・農村環境改善センターに関する事。
- ・北地区小体育館に関する事。
- ・西部地区センターに関する事。
- ・勤労青少年ホームに関する事。
- ・スポカルイン黒石図書コーナーに関する事。
- ・ほるぷ子ども館に関する事。
- ・市民文化会館に関する事。
- ・読書活動の推進に関する事。
- ・視聴覚教育に関する事。
- ・青少年相談センターに関する事。
- ・青少年の健全育成に関する事。
- ・課の庶務に関する事。

文化スポーツ課

文化スポーツ係

- ・文化及び芸術の振興並びに団体育成に関すること。
- ・文化賞等及び同受賞者審議会に関すること。
- ・幼稚園及び小・中学生団体鑑賞の企画実施に関すること。
- ・市史その他歴史に関する刊行物の編さんに必要な資料の収集、整理及び保管並びに調査に関すること。
- ・生涯スポーツの振興に関すること。
- ・スポカルイン黒石に関すること。
- ・中央スポーツ館に関すること。
- ・黒石運動公園有料都市公園施設に関すること。
- ・市立武道場に関すること。
- ・スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。
- ・スポーツ団体の育成指導及び連絡調整に関すること。
- ・スポーツ賞等及び同受賞者審議会に関すること。
- ・スポーツ推進委員に関すること。
- ・学校体育施設の開放に関すること。
- ・その他文化、芸術及びスポーツに関すること。
- ・課の庶務に関すること。

文化財係

- ・文化財の保護及び活用に関すること。
- ・文化財の調査及び報告に関すること。
- ・文化財の指定及び解除に関すること。
- ・文化財保護審議会に関すること。
- ・伝統芸能の保存及び育成に関すること。
- ・伝統的建造物群保存事業に関すること。
- ・歴史的景観保存審議会に関すること。
- ・その他文化財に関すること。

2 委員会の活動概要

(1) 教育委員会会議

開催日	会 議	議案番号等	案 件 等	結果
平成 28 年 4 月 26 日	第 4 回 定例会	報告第 1 号	臨時代理した事務の報告について（処分第 1 号 黒石市学校医の委嘱について）	報告
		報告第 2 号	臨時代理した事務の報告について（処分第 2 号 黒石市社会教育委員について）	報告
		議案第 51 号	黒石市「UPる」先生任用規則の一部改正について	可決
		議案第 52 号	黒石市立学校職員安全衛生管理規程における健康管理医の委嘱について	可決
		議案第 53 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
平成 28 年 5 月 30 日	第 5 回 定例会	議案第 54 号	黒石市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	可決
		議案第 55 号	平成 2 9 年度使用小・中学校用教科用図書の採択について	可決
		議案第 56 号	黒石市教育支援委員会委員の委嘱について	可決
		議案第 57 号	黒石市いじめ問題対策審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 58 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
平成 28 年 6 月 27 日	第 6 回 定例会	議案第 59 号	黒石市教育委員会事務点検評価委員会委員の委嘱について	可決
		議案第 60 号	黒石市教育委員会事務点検評価委員会委員の委嘱について	可決
		議案第 61 号	黒石市教育委員会事務点検評価委員会委員の委嘱について	可決
平成 28 年 7 月 25 日	第 7 回 定例会	議案第 62 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
		議案第 63 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
		議案第 64 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
平成 28 年 8 月 25 日	第 8 回 定例会	報告第 3 号	教育長が委任を受けた事務の報告について	報告
		議案第 65 号	平成 2 8 年第 3 回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について	可決
		議案第 66 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
平成 28 年 9 月 26 日	第 9 回 定例会	議案第 67 号	黒石市高校生ボランティア活動表彰条例施行規則の一部改正について	可決
平成 28 年 10 月 25 日	第 10 回 定例会	議案第 68 号	黒石市就学援助事業実施要綱の一部改正について	可決
		議案第 69 号	教育財産の用途廃止について	可決

開催日	会 議	議案番号等	案 件 等	結果
平成 28 年 11 月 18 日	第 3 回 臨時会	議案第 70 号	黒石市教育委員会教育長の職務に専念する義務の免除に関する規則の制定について	可決
		議案第 71 号	黒石市教育委員会会議傍聴規則の一部改正について	可決
		議案第 72 号	黒石市教育委員会文書取扱規程の一部改正について	可決
		議案第 73 号	黒石市立黒石幼稚園長の退職について	可決
		議案第 74 号	黒石市立黒石幼稚園長の任命について	可決
平成 28 年 11 月 25 日	第 11 回 定例会	組織案件	席次の決定について	可決
		議案第 75 号	平成 28 年第 4 回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について	可決
		議案第 76 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
		議案第 77 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
		議案第 78 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決
平成 28 年 12 月 27 日	第 12 回 定例会	報告第 4 号	臨時代理した事務の報告について（処分第 3 号 黒石市教育支援委員会委員の委嘱について）	報告
		議案第 79 号	黒石市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	可決
		議案第 80 号	黒石市教育委員会公印規則の一部改正について	可決
		議案第 81 号	黒石市教育委員会委員学校訪問実施要綱の一部改正について	可決
		議案第 82 号	黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について	可決
		議案第 83 号	黒石市立東公民館長の任命について	可決
		議案第 84 号	黒石市立中部公民館長の任命について	可決
		議案第 85 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 86 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 87 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 88 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 89 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 90 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 91 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
		議案第 92 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決
議案第 93 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決		
議案第 94 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決		
平成 29 年 1 月 25 日	第 1 回 定例会	議案第 1 号	六郷小学校・上十川小学校統合実施計画について	可決
		議案第 2 号	平成 28 年度黒石市高校生ボランティア活動賞受賞者の決定について	可決
		議案第 3 号	平成 28 年度黒石市文化功労賞等受賞者の決定について	可決

開催日	会 議	議案番号等	案 件 等	結果
		議案第 4 号	平成 2 8 年度黒石市スポーツ賞等受賞者の決定について	可決
平成 29 年 2 月 23 日	第 1 回 臨時会	議案第 5 号	黒石市立小学校及び中学校の校長及び教頭の異動に係る内申について	可決
平成 29 年 2 月 28 日	第 2 回 定例会	議案第 6 号	黒石市立幼稚園管理規則の廃止について	可決
		議案第 7 号	黒石市立幼稚園及び小学校の学校週 5 日制実施に伴う休業日における指導員設置要綱の廃止について	可決
		議案第 8 号	教育長の権限に属する事務の一部を学校長等に委任する規程の一部改正について	可決
		議案第 9 号	教育長の権限に属する事務の一部を公民館長に委任する規程の一部改正について	可決
		議案第 10 号	黒石市教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱の一部改正について	可決
		議案第 11 号	黒石市立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部改正について	可決
		議案第 12 号	人事評価の結果に係る異論の申出の取扱い等に関する要綱の制定について	可決
		議案第 13 号	平成 2 9 年度黒石市学校教育指導の方針と重点について	可決
		議案第 14 号	平成 2 9 年第 1 回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について	可決
平成 29 年 3 月 17 日	第 2 回 臨時会	議案第 15 号	平成 2 9 年度黒石市教育委員会の課長級以上の職員の任免について	可決
平成 29 年 3 月 27 日	第 3 回 定例会	議案第 16 号	黒石市スポーツ交流センター管理運営規則の制定について	可決
		議案第 17 号	黒石市教育委員会文書取扱規程の一部改正について	可決
		議案第 18 号	黒石市教育委員会専決代決規程の一部改正について	可決
		議案第 19 号	黒石市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部改正について	可決
		議案第 20 号	黒石市家庭教育推進協議会規則の一部改正について	可決
		議案第 21 号	黒石市子ども読書活動推進計画（第二次）について	可決
		議案第 22 号	黒石市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	可決
		議案第 23 号	黒石市立中郷公民館長の任命について	可決
		議案第 24 号	黒石市立牡丹平公民館長の任命について	可決
		議案第 25 号	黒石市立追子野木公民館長の任命について	可決
		議案第 26 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決
		議案第 27 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決
		議案第 28 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決
議案第 29 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決		
議案第 30 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決		

開催日	会 議	議案番号等	案 件 等	結果
		議案第 31 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決
		議案第 32 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決
		議案第 33 号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決

(2) その他の教育委員の活動

教育委員は、教育委員会会議以外に、学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、研修会等に参加して委員としての幅広い識見を養い、本市の教育行政の向上に勤めている。

年	月	活 動 内 容
平成28年	4月	青森県市町村教育委員会連絡協議会理事会
	6月	平成28年第2回黒石市議会定例会
	7月	青森県市町村教育委員会連絡協議会
	9月	平成28年第3回黒石市議会定例会 南地方市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会 実年式 市立学校訪問（小学校3校・中学校1校）
	10月	市立学校訪問（幼稚園1校・小学校7校・中学校3校） 黒石市立東英中学校閉校記念式典
	11月	市町村教育委員会教育長合同会議 平成28年第1回黒石市議会臨時会 黒石市立六郷中学校閉校記念式典
	12月	黒石市立黒石中学校閉校記念式典 第1回黒石市総合教育会議
平成29年	1月	成人式
	2月	平成28度黒石市文化・スポーツ賞等授与式
	3月	黒石市立黒石幼稚園閉園記念式典 市立学校卒業式

第3章 点検及び評価結果

※ 点検評価表の解説

1 「重点施策4つの柱」

(1) 「施策」

表中欄の解説

〔当初予算額・決算額欄〕

平成28年度の当初予算額及び決算額。

平成28年度執行率(%) = (平成28年度決算額 ÷ 平成28年度当初予算額) × 100

※小数点第2位を四捨五入

〔事業計画欄〕

平成28年度重点施策に基づき計画した事業を掲載

〔事業実績欄〕

平成28年度事業計画に対しての実績を掲載

〔自己評価欄〕

平成28年度の事業実績について内部評価した結果を掲載。評価値は、次の基準による。

A = 期待どおり又は期待以上の成果があった。

B = 事業は概ね達成できたが、更に向上するためには工夫や努力の必要がある。

C = 一部事業の見直し又は手法に関する改善の必要がある。

D = 事業廃止を含め、事業全体の見直しをする必要がある。

〔評価理由〕

自己評価の理由を掲載

〔問題点欄〕

自己評価した結果がA以外の場合、問題点や課題等を掲載

〔外部評価欄〕

「実施した事業を適切に内部評価しているか」について、教育委員会事務点検評価委員会委員の評価を掲載。評価値は、自己評価に同じ。

平成28年度黒石市教育委員会重点施策

1 夢や志を支え、知・徳・体が調和する学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

基礎的な知識及び技能を習得、かつ、活用し、自ら考え判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応しよりよく解決する力を養う。

(指導課)

平成28年度当初予算額	20,619,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	17,053,239円	平成28年度執行率	82.7%
事業計画	<p>1 訪問指導</p> <p>(1) 計画訪問 H28.5-7・15回／学校運営等の現状把握</p> <p>(2) 要請訪問 H28.5-H29.2／研修計画に基づく教育課題の解決</p> <p>(3) 生徒指導訪問 H28.8-H29.1／児童生徒の生活状況の把握</p> <p>(4) 学力向上支援訪問 H29.2／教科指導の支援・助言</p> <p>2 外国語指導助手 11,614千円</p> <p>小学校1名・中学校1名配置／児童生徒の英語力の育成</p> <p>3 算数・数学「UPる」先生 8,324千円</p> <p>小学校5名・中学校4名配置／児童生徒の学習意欲の向上と学力の定着</p> <p>4 やる気「UPる」塾 681千円</p> <p>H28.5-H29.2・20回／中学生対象／学習機会の提供・学習意欲と学力の向上</p>		
事業実績	<p>1 訪問指導</p> <p>(1) 計画訪問 H28.5-7 15回</p> <p>(2) 要請訪問 H28.5-H29.2 25回</p> <p>(3) 生徒指導訪問 H28.8-H29.1 2回</p> <p>(4) 学力向上支援訪問 H29.2 小学校3校、中学校1校</p> <p>2 外国語指導助手</p> <p>計画的に幼稚園・小学校へ1名、中学校へ1名を派遣</p> <p>訪問日数 幼稚園10日、小学校170日、中学校174日</p> <p>小学校：コミュニケーションを中心とした外国語活動の授業を支援し、児童の関心と意欲を高めた。</p> <p>中学校：担当教員と協力し合いながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を示し、英語の授業を支援した。また、英語スピーチコンテストの指導等については個に応じた支援も行った。</p> <p>3 算数・数学「UPる」先生</p> <p>H28.5-H29.2 10ヶ月間、4時間の勤務時間で小学校5名、中学校4名、計9名配置</p> <p>各校ともTT指導や長期休業において個別指導等の運用を行った。</p> <p>4 やる気「UPる」塾</p> <p>H28.5-H29.2 第2・第4土曜日の午前中に20回実施した。</p> <p>市内中学生37名が参加し、弘前大学教育学部1年生や「UPる」先生が塾講師と</p>		

	なって、生徒の質問に対して、分かるまで教える個別指導を行った。
自己評価	A
評価理由	訪問指導においては、各学校の学校運営や校内研修などに関して指導・助言をし、先生方の授業改善や資質向上につながった。外国語指導助手が、ネイティブな外国語の音声を発することで、自然に英語やアメリカの文化について関心を高めることができた。また、ALTの二人が事前の教材研究や教具の準備に熱心に取り組み、授業改善に努めた。算数・数学「UPる」先生の活用に関しては、全小・中学校に配置することができ、校長先生の年度末評価から、学力向上において非常に効果が高いという評価をいただいた。やる気「UPる」塾事業では、生徒のアンケート結果から以前よりも授業等の内容がよく分かるようになった生徒の割合が増え、学習意欲と学力の向上に効果があった。
問題点	なし
今後の取組	「くろいし型授業スタイル」を全教職員に配布し、各校の実態を踏まえて、一貫した指導事項（クラス全員参加型の学び合い、振り返りの工夫等）の徹底を図りたい。算数・数学「UPる」先生を、学校規模に合わせた人数配置を図りたい。
外部評価	A

(2) 教員の資質向上

教職に関する専門的事項についての研修を組織的、かつ、計画的に進め、必要とされる資質能力の向上を図る。

(指導課)

平成28年度当初予算額	65,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	5,000円	平成28年度執行率	7.7%
事業計画	1 初任者研修講座	5千円	
	年1回／初任者対象／黒石市の歴史文化等の理解促進		
	2 幼児児童教育実技研修講座	20千円	
	年1回／発達段階に応じた実践的指導力の向上		
	3 ICT活用研修講座	20千円	
	年1回／ICT活用の習得		
4 研修主任研修講座	20千円		
年1回／研修主任としての資質向上			
5 夏期研修講座			
年1回／学校運営等教員としての視野の拡大			
6 小学校外国語活動研修講座			
年1回／小学校教員の外国語活動における指導力の向上			

	7 インクルーシブ教育スキルアップ研修会 年1回／特別支援教育の知識・専門性の向上
事業実績	<p>1 初任者研修講座 7/5 初任者対象に黒石市の歴史文化等の理解促進を図った。</p> <p>2 幼児児童教育実技研修講座 8/8 幼児教育・小学校教育の担当者を対象に、発達段階に応じたカリキュラムの構築について情報提供と情報共有を図った。</p> <p>3 ICT活用研修講座 7/26 小・中学校の教員を対象にICTの活用方法について知識習得と技能向上の場を設けた。</p> <p>4 研修主任研修講座 4/11 研修主任を対象に校内研修の効果的な進め方について講義し研修主任の資質向上に努めた。</p> <p>5 夏期研修講座 7/27 小・中学校の教員を対象に講義を行い、学校運営等教員としての視野の拡大を図った。</p> <p>6 小学校外国語活動研修講座 5/10 小・中学校の教員を対象に英語の授業や外国語活動における指導力の向上を図った。</p> <p>7 インクルーシブ教育スキルアップ研修会 5/17 小・中学校の管理職及び教員を対象に講演を行い、特別支援教育の知識・専門性の向上を図った。</p>
自己評価	A
評価理由	各講座ともに、対象となる教員の実態を踏まえた上で研修内容を構想し、講義や協議・情報共有の時間を設定した研修計画を基に講座を計画どおり実施することができた。また、参加者からのアンケートではほとんどの事業において高い評価を受けることができた。
問題点	なし
今後の取組	黒石市内の学校の実態を踏まえ、教育活動の充実を支える教員に必要となる資質・能力の向上を図る研修の場として各講座を実施する。
外部評価	A

(教育研究所)

平成28年度当初予算額	88,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	43,370円	平成28年度執行率	49.3%
事業計画	教員研修講座	88千円	

	理科実技研修講座 年2回／教員の理科実験等に係る技能の習得
事業実績	<p>教員研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回理科実技研修講座 5／13 小動物の飼育方法や植物の栽培方法について研修し、観察・実験の技術の向上を図った。 第2回理科実技研修講座 8／4 小・中学校の系統性を踏まえた理科教育における観察・実験及び教材製作等の具体的手法や技能について研修し、指導力の向上を図った。
自己評価	A
評価理由	2回の実技研修講座を実施することで、教員の理科に関する観察・実験の技術向上につながった。また、参加者からのアンケート結果から、今後の授業改善や教材づくり、教材の活用方法に大変参考になる内容であったことや次年度も受講したいなど、とても高い評価を受けることができた。
問題点	なし
今後の取組	教員の理科実験等に係る技能の習得をねらいとする実技研修講座を年2回実施する。
外部評価	A

(3) 教育相談の充実

教育に関する諸問題の解決に向けて、児童生徒、保護者、教職員の相談に応じ、児童生徒の望ましい人格の成長への援助を図る。

(指導課)

平成28年度当初予算額	45,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	36,470円	平成28年度執行率	81%
事業計画	<p>教育相談室</p> <p>電話相談・来室相談／学習適応指導教室相談員による対応(火-金曜日)・指導主事による対応(月-金曜日)</p>		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談件数は、指導課が38件、教育相談室が10件であった。 指導課での主な相談内容は、児童生徒と教師の人間関係、児童生徒の保護者の問題、児童生徒同士の間人間関係、児童生徒の問題行動、学校の指導の仕方についてである。 教育相談室での主な相談内容は、家庭の問題や児童生徒自身の発達障害等が要因となっている不登校及び集団への不適応についてである。 		
自己評価	A		

評価理由	様々な悩みを抱える相談者に対して、きめ細かで丁寧な対応に努めるとともに、学校や関係機関と連携を図りながら問題の解決に向けて支援を行った。また、相談窓口担当者が、県教育委員会主催の研修会へ積極的に参加し、スキル向上に努めた。
問題点	なし
今後の取組	学校に対して、各関係機関担当者や相談窓口の担当者、相談員等を紹介し、関係機関と連携した事例について共に学ぶ機会を設ける。
外部評価	A

(4) 不登校児童生徒の解消

長期欠席をしている不登校児童生徒が在籍校に復帰するための環境を整える。

(指導課)

平成28年度当初予算額	4,230,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	4,043,825円	平成28年度執行率	95.6%
事業計画	学習適応指導教室 火一金曜日/市勤労青少年ホーム・移動適応指導教室/学習適応指導教室相談員による指導		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 学習適応指導教室への通室生徒は中学校第3学年3名、第1学年3名であった。 中学校3学年の生徒は全員高校に進学することができた。また、1学年の3名は、移動適応指導教室を実施することにより別室登校できるようになっているなど、一年間で大きな成果が見られた。 		
自己評価	A		
評価理由	定例会等をとおして、学校や関係機関との連携を密にし、不登校児童生徒が安心できる環境づくりと登校できるきっかけづくりに努めた。また、社会見学や体験学習の内容を充実させ、個々のニーズに応じた十分な支援を心がけた。さらに、中学校卒業後の生徒に対する相談も受けるなど、生徒の卒業後も継続的なケアができるように努めた。		
問題点	なし		
今後の取組	相談員が、不登校児童生徒への理解と対応に関する研修会へ積極的に参加し、相談員としての専門性を高める。		
外部評価	A		

(5) 特別支援教育の充実

早期からの教育相談・支援・就学先の決定にとどまらず、指導や就学後の支援など、ニーズに応じた一貫した教育支援により、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の構築を図る。

(学校教育課・指導課)

平成28年度当初予算額	19,904,000円	【継続事業】		
平成28年度決算額	19,364,123円	平成28年度執行率	97.3%	
事業計画	1 就学先の決定	299千円		
	教育支援委員会による専門的判断			
事業計画	2 特別支援教育支援員の配置	19,605千円		
	学校生活や教育上で特別な支援が必要な児童生徒のサポート／小・中学校14名			
事業実績	1 就学先の決定 (教育支援委員会)	176,629円		
	総合診断依頼			
	就学前児童 7名 中学校進学前 7名 通常学級から 4名			
	消耗品費	40,515円		
	医学診断料	68,668円		
	専門員による調査 H28.6-12月 32件	費用弁償	18,204円	
	専門員会議 5回 (専門員12名)	費用弁償	7,696円	
	教育支援委員会による審議 H28.5-H28.12月 5回 (委員14名)	費用弁償	9,546円	
		報酬	32,000円	
	決定した就学先 特別支援学校 2名 特別支援学級 15名 通常学級 1名			
	2 特別支援教育支援員の配置			19,187,494円
	報酬			
		小学校 9校 10名	12,000,000円	
	中学校 2校 4名	4,800,000円		
社会保険料				
	小学校	1,706,188円		
	中学校	656,614円		
費用弁償 (校外活動支援等)				
	小学校	22,694円		
	中学校	1,998円		
自己評価	A			
評価理由	1 就学先の決定			
	教育支援委員会の審議を経て就学相談を実施し、保護者が希望する就学先について合意形成を図った。			
評価理由	2 特別支援教育支援員の配置			
	特別支援教育支援員については、予算が限られているため、特別な支援を要する児童生徒数に対し、特別支援教育支援員が不足しているのが実状だが、必要性を見極め、時間差を使った支援など学校側の理解と協力を得ながら、より			

	多くの児童生徒に対し支援員を配置することができた。
問題点	なし
今後の取組	<p>1 就学先の決定 特別な支援を要する児童生徒は年々増加しており、教育支援委員会に諮るための資料整備を行う専門員の需要が高まることが予想されるため、業務を円滑に行うために研修会を開催するなど工夫する。また、専門員の増員を検討する。</p> <p>2 特別支援教育支援員の配置 特別支援員教育支援員の増員が望ましいが、限られた予算の中、学校の理解と協力を求めながら適切な配置に努める。</p>
外部評価	A

(6) 学校適正配置の推進

教育委員会が示す適正規模に近づけ、児童生徒の教育環境を適正に保つため、小・中学校の規模の改善を図る。

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	7,205,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	4,387,310円	平成28年度執行率	60.9%
事業計画	<p>1 小学校統合の枠組みの決定 六郷小・上十川小統合審議組織の設置 六郷小・上十川小統合実施計画の策定</p> <p>2 黒石中・六郷中・東英中統合準備事業 5,145千円 (1) 統一用品の整備 (2) 学校間交流バス借上げ (3) スクールバス試走</p> <p>3 黒石中・六郷中・東英中閉校記念式典の開催 2,060千円</p>		
事業実績	<p>1 小学校統合の枠組みの決定 H28. 9 六郷・上十川小学校統合準備委員会設置 H28.12 黒石市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定 H29. 1 六郷小学校・上十川小学校統合実施計画策定</p> <p>2 黒石中・六郷中・東英中統合準備事業 (1) 統一用品の整備 (女子制服ライン・リボン、名札、靴ヒモ、部活ユニホーム) 2,112,077円 (2) 学校間交流バス借上げ 308,880円 (3) スクールバス試走 127,440円</p> <p>3 黒石中・六郷中・東英中閉校記念式典 1,838,913円</p>		
自己評価	A		

評価理由	統合枠組みごとに学校と連携し、計画していた事業を十分に実施することができた。
問題点	なし
今後の取組	平成30年度及び平成32年度に統合を控えている各小学校についても、遅滞なく準備を進め、統合校への円滑な移行を図る。
外部評価	A

(7) 学校完全給食の実現

食育を通して健康教育を推進するため、学校完全給食の実現のうち平成32年度の小学校完全給食の実施をめざす。

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	0円	【新規事業】	
平成28年度決算額	0円	平成28年度執行率	—
事業計画	小学校完全給食実施計画の策定		
事業実績	<p>平成27年度中に学校給食に関する調整会議で検討した内容を踏まえ、黒石東小学校と新築する黒石・中郷・北陽の統合校に自校式給食施設を整備し、東英小学校は黒石東小学校から配送する親子方式とするという方針を決定した。</p> <p>また、六郷小学校については、平成29年度内の給食再開に向け、実施設計に着手した。</p>		
自己評価	B		
評価理由	自校式の採用という方針決定に至ったことで、完全給食実施に向けて確実に前進した。		
問題点	具体的な実施計画の策定には至っていない。		
今後の取組	市の財政状況に留意し、給食施設の運営形態等の調査、研究を進める。		
外部評価	B		

(8) 学校施設・設備の整備

学校の施設・設備の安全性を確保し適正化を図るとともに地域の防災拠点機能の充実を図る。

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	158,762,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	158,581,491円	平成28年度執行率	99.9%

事業計画	1 学校補修等工事・修繕	108,399千円
	東英小・中郷中暖房設備改修／六郷小ブランコ設置／黒石小トイレ改修／黒石中屋上防水／黒石中防球ネット改修 等	
	2 学校施設機械警備業務	8,240千円
	3 設備の保守点検	12,361千円
	消防設備／電気保安／ダムウェータ／エレベータ／空調／地下貯油槽／ボイラー／体育器具／遊具／プール／体育館暖房／建築物定期調査	
	4 黒石東小蛍光灯安定器P C B廃棄物処理	3,366千円
事業実績	5 外構整備	6,396千円
	樹木薬剤散布／樹木選定伐採／除雪	
	6 黒石小・中郷小・北陽小統合校舎新築基本設計	20,000千円
	1 学校補修等工事・修繕	111,289,403円
	東英小学校暖房設備改修工事 中郷中学校暖房設備改修工事 六郷小学校ブランコ設置工事 黒石中学校屋上防水改修工事 黒石中学校内部改修工事 黒石中学校防球ネット改修工事 旧厚目内小中学校体育館外壁改修工事 旧厚目内小中学校体育館改修切り離し工事 修繕 学校施設全校(廃校含む。)で実施	
	2 学校施設機械警備業務	8,238,672円
機械警備	小学校10校・中学校4校・幼稚園1校で実施 H28.4-H29.3	
3 設備の保守点検	13,742,526円	
消防設備等	小学校10校・中学校4校・幼稚園1校で実施 H28.4-H29.3	
電気保安	小学校10校・中学校4校・幼稚園1校で実施 H28.4-H29.3	
ダムウェータ	小学校4校・中学校1校で実施 H28.4-H29.3	
エレベータ	小学校1校で実施 H28.4-H29.3	
プール	小学校3校で実施 H28.5-H28.9	
空調	小学校5校・中学校2校で実施 H28.5-H28.9	
地下貯油槽	小学校8校・中学校3校で実施 H28.9-H28.10	
ボイラー	小学校3校・中学校1校で実施 H28.4-H29.3	
体育器具	小学校10校・中学校4校で実施 H28.7-H28.8	
遊具	小学校10校・中学校1校・幼稚園1校で実施 H28.7-H28.8	
4 黒石東小蛍光灯安定器P C B廃棄物処理	3,314,520円	
収集運搬	実施 H28.4-H28.7	
処理	実施 H28.5-H28.8	
5 外構整備	4,467,970円	
樹木薬剤散布	小学校5校・幼稚園1校で実施 H28.5-H28.10	

	剪定伐採 小学校9校・中学校1校・幼稚園1校で実施 H28.9-H29.3 草刈・除雪 小学校6校・中学校1校・幼稚園1校・廃校施設で実施 H28.5-H29.3 雪囲い 小学校1校・幼稚園1校で実施 H28.11-H29.3 6 黒石小・中郷小・北陽小統合校舎新築基本設計 17,528,400円 新設小学校新築基本設計業務委託 H28.9-H29.3 六郷小学校給食用厨房改築実施設計業務委託 H28.10-H29.3 黒石東小学校校舎増築基本設計業務委託 H28.10-H29.3 新設小学校地質調査業務委託 H29.2-H29.3
自己評価	B
評価理由	一部計画変更により実施しなかった工事があったが、おおむね計画どおり実施できた。
問題点	黒石小学校トイレ改修工事について、経費に見合う効果が得られない可能性があり、計画を変更し実施しなかった。
今後の取組	計画的に学校施設設備の維持管理を行うほか、緊急の補修等に対応する。
外部評価	B

(9) 学校教育環境の整備

健康で安全安心な学校生活環境とわかる授業のための環境の向上を図る。

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	92,661,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	84,972,095円	平成28年度執行率	91.7%
事業計画	1 学校管理備品の整備	12,140千円	
	ガス計器警報機類・机椅子等の購入・修繕		
	2 校務環境の整備	7,461千円	
	(1) 複写機・印刷機・情報機器・通信機器・自動体外式除細動器等の購入・借入れ		
	(2) 学校一斉メールソフト導入		
	3 学校保健活動の充実	19,635千円	
	(1) 児童生徒の健康管理 学校医による健康診断等	15,768千円	
	(2) 教職員の健康管理 健康診断委託/健康管理医の配置	3,867千円	
	4 学校環境衛生基準・学校給食衛生管理基準に基づく管理	8,527千円	
	(1) 給食設備衛生 (2) 給食員衛生検査 (3) 窓ガラス・浄化槽・受水層清掃 (4) 煤煙測定 (5) 薬剤師の配置		
5 わかる授業環境備品の整備	44,898千円		
教材備品等の購入・修繕	14,318千円		
情報教育環境の整備	30,580千円		

事業実績	1 学校管理備品の整備	12,808,186円
	ガス計器警報機類・机椅子等の購入・修繕	
	2 校務環境の整備	7,325,549円
	(1) 複写機・印刷機・情報機器・通信機器・自動体外式除細動器等の購入・借入れ	
		6,936,749円
	(2) 学校一斉メールソフト導入	
	メール配信システム構築	小学校10校・中学校4校で実施 237,600円
	システム利用料	小学校10校・中学校4校で実施 151,200円
	3 学校保健活動の充実	16,946,858円
	(1) 児童生徒の健康管理 学校医による健康診断等	
		14,498,000円
	(2) 教職員の健康管理 健康診断委託／健康管理医の配置	
		2,448,858円
	4 学校環境衛生基準・学校給食衛生管理基準に基づく管理	8,166,967円
	(1) 厨房施設ネズミ等駆除 小学校2校で実施	
	230,256円	
(2) 給食員衛生検査 月2回		
	74,144円	
(3) 窓ガラス清掃 小学校10校・中学校4校で実施		
	2,329,451円	
(3) 浄化槽清掃 小学校7校・中学校2校で実施		
	2,165,400円	
(3) 受水槽等清掃 小学校5校・中学校4校で実施		
	788,076円	
(4) 煤煙測定 小学校2校・中学校1校で実施		
	224,640円	
(5) 薬剤師の配置		
	2,355,000円	
5 わかる授業環境備品の整備	39,724,535円	
教材備品等の購入・修繕		
	14,018,654円	
情報教育環境の整備		
	25,705,881円	
自己評価	A	
評価理由	1 学校管理備品の整備 各校の要望に沿った整備を進めることができた。	
	2 校務環境の整備 複写機等の整備を計画どおり実施できた。また、以前から要望のあった学校一斉メールソフトを新規導入できた。	
	3 学校保健活動の充実 学校保健法に基づき、健康診断等の保健活動を実施することができた。	
	4 学校環境衛生基準・学校給食衛生管理基準に基づく管理 計画どおり実施できた。	
	5 わかる授業環境備品の整備 教材備品については、理科・算数教育備品に係る国の補助整備率が低いものの限られた予算の中で各校の要望に沿った整備を進めることができた。また、教科書改訂に伴う中学校教師用教科書及び指導書を適切に整備することができた。 情報教育環境の整備は、学校統廃合を見据えての整備をすることができた。	

問題点	なし
今後の取組	財政的に厳しい状況が続いているが、限られた予算の中で適切に事業を行っていく。
外部評価	A

(10)就学の援助

子どもに一定の教育を受けさせるため、経済的理由のある保護者に対し必要な援助を行う。

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	45,755,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	35,119,340円	平成28年度執行率	76.8%
事業計画	1 私立幼稚園就園奨励費補助金の交付 4,521千円 2 小・中学校就学援助 41,234千円 (1) 学用品費等の支給 (2) 医療・学校給食の扶助 (3) 特別支援教育就学奨励		
事業実績	1 私立幼稚園就園奨励費補助金の交付 3,363,700円 私立幼稚園保育料減免措置への支援 補助金の交付 1校 対象者 28名 2 小・中学校就学援助 31,755,640円 (1) 学用品費等の支給 441名受給 支給額26,117,148円 小学生 234名 7,612,722円 中学生 207名 18,504,426円 (2) 医療・学校給食の扶助 413名受給 支給額5,115,509円 医療扶助 小学生 9名 32,768円 中学生 6名 62,502円 給食扶助 小学生 213名 3,361,172円 中学生 185名 1,659,067円 (3) 特別支援教育就学奨励費 27名受給 支給額522,983円 小学生 20名 312,925円 中学生 7名 210,058円		
自己評価	A		
評価理由	1 私立幼稚園就園奨励費補助金の交付 多子世帯の優遇措置の拡大や、ひとり親世帯等の補助限度額の引き上げにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 2 小・中学校就学援助 黒石市就学援助事業実施要綱に基づき、認定者を精査し、確実に支給することができた。		

問題点	なし
今後の取組	今後も、保護者の経済的負担の軽減を図るため、実情の把握に努めながら、子どもが一定の教育を受けられるよう国の基準に沿い進めていく。
外部評価	A

【外部評価コメント】

第2・第4土曜日に行っている“やる気「UPる」塾”は、市内の中学校に通う生徒であれば、誰でも希望さえすれば、休日であっても学ぶことのできる素晴らしい事業だと思います。

また、講師をしている弘前大学教育学部の学生にとっては、教師を目指す上で貴重な体験のできる場となっていると思います。

教えられる側、教える側の双方にメリットのある事業ではないでしょうか。「授業等の内容がよく分かるようになった生徒の割合が増え、学習意欲と学力の向上に効果があった。」という評価結果に心底頷けます。事業の継続を切に願います。

「先生の話が聞けない。」「授業中、椅子に座ってられない。」「集団行動ができない。」これらは小1プロブレムと言われる状況で、現在の小学校教育における大きな問題の一つです。

そのため、幼稚園・保育園・こども園・小学校では、発達段階に即したアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの構築が不可欠となっています。

このような中、幼児教育と小学校教育の担当者を対象として実施されている「幼児児童教育実技研修講座」は、上記課題の解決に向けた幼・保・小の縦の連携だけでなく、幼・保や小・小等の横の連携にも大きな力を発揮する研修講座だと思います。

本研修の中で、幼・保・小の教師と保育士が胸襟を開き、互いの悩みや成果を共有し、相互理解を深めながら接続期のカリキュラムを作りあげることで、年長児から小1への滑らかな接続に大きな力を発揮するような気がします。

不審者出没、台風・地震等の自然災害など、子どもの命にかかわる事件・事故、災害などが発生した際、学校へ求められる対応の一つに「家庭への迅速かつ確実な連絡」があげられます。

そのために、学校で行っている方法に「緊急連絡網を用いた電話連絡」や「一斉配信メール」などがあります。しかし、「一斉配信メール」のシステム構築には多額の費用がかかるため、各校とも費用の捻出には苦慮していることと思います。

今回、教育委員会が「学校一斉メールシステム」の構築に努めたことには、「子どもの安全・安心の確保」をはじめ、学校教育活動を支えようとする教育委員会の思いが感じられます。各校とも大変心強かったのではないのでしょうか。

昨年度に続き、今回が2回目の外部評価になるが、記載内容にも工夫・改善が見られ、教育委員会の点検・評価も概ね良好と判断できる。学校や教職員への支援も十分に行われているほか、財政が逼迫する中で、安心・安全のための施設改修なども行われていることが理解できる。全体として、目標に向かって努力し、一定の成果を上げてきていると評価する。学校教育の充実を図るため多岐にわたって活動が展開されており、それらは総合的に調和のとれたものと思われる。

学校は一般に閉鎖的になりやすいことから、立場や経験及び継続性を考慮した学校評議員により、学校教育の専門性や客観性の保持を図るとともに、地域に開かれた学校づくりをより一層進めていただきたい。地域や保護者の学校への期待が増大し、それらに応える活動はますます複雑多岐にわたり、学校だけでの対応は困難な状況にある。広く市民の潜在的な能力、とりわけ地域人材の活力を活用して学校教育の推進を図るため、今後も、学校経営への市民参加について、取り組みを積極的に進めていただきたい。

指導主事による学校教育指導、「UPる」先生派遣事業によって、学力向上を目指す各学校の組織的な取り組みの充実が図られたことが評価できる。学力向上のためには、高い指導力と情熱を持つ教師の育成が必要不可欠で、今後も校内研修の一層の充実と校外研修講座の活性化、教師一人ひとりのライフステージに応じた研修の効果的な実施に努めてほしい。

外国語教育について、小学校における英語の授業や外国語活動の指導力向上、研修会の開催や小中連携カリキュラムの導入、ALTの活用を工夫するなど子ども達の関心と意欲の高まりに期待する。

特別支援教育の推進では、限られた予算の中で工夫をしながら支援員を配置し、支援していることは評価できる。

学校適正配置については、望ましい学校規模の確保を前提としながら、地域の実情を考慮し適切に進められていると思われる。

学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時における地域住民の避難場所に指定されている。施設整備に万全を期し、その安全性を確保することは極めて重要である。快適な学習環境の整備に向け、施設を安全・安心に利用できるよう日常の点検管理及び適切な維持補修を施すとともに、国の交付金等を活用した長期的な整備計画を立て、さらなる安全・安心の確保を図るよう努めていただきたい。

最後に、教員の多忙化が叫ばれており、子どもとのふれあい、授業準備などに充てる時間がなくならないように、また心身の健康が保てるように配慮してほしいと思います。

確かな学力の育成については、ここ数年の成果が大きい事業を中心に、更なる効果を求めて継続的な事業実施に努めています。特に、ALTによる授業改善や英語スピーチコンテストの指導、弘前大学教育学部1年生や「UPる」先生が講師となる“やる気「UPる」塾”の実施など、学習意欲の向上と学力の定着に向けて工夫を凝らした積極的な取り組みが見てとれます。また、職員の資質向上については教員の実態を踏まえた上で研修を企画し、少ない予算で成果を得られるよう努めています。課題として認識しているとおり、学校規模に合わせた「UPる」先生の人数配置や「くろいし型授業スタイル」の全教職員配布などを通して更なる充実が図られることを期待します。

複雑な家庭環境や経済的理由、発達障害など何らかの理由で学校に馴染むことができない児童生徒への対応については、関係機関と連携を図りながら積極的な対応が見られます。特に、不登校生徒への卒業後の継続的ケアや特別支援教育支援員の時間差支援など、限られた予算の中にあっても丁寧な対応に取り組む姿勢が感じられます。相談員のスキル向上を中心に教育相談の一層の充実を図りながら、益々複雑多岐にわたるニーズに対応できる体制の構築を期待します。

学校の適正配置については、統合の枠組み決定を受けてようやく動き出した感があります。しかし、完全給食に向けた具体的な計画策定や統廃合に伴う地域の在り方など、住民にとって身近な課題については青写真が見えていない現状です。関係機関や関係する市役所各課室に対して、教育委員会がイニシアチブを持って調整機能を果たすことを期待します。

学校施設や教育環境の整備については、学校の統廃合を念頭に置きながら限られた予算の中で優先順位に基づいて実施されています。老朽化が危惧される施設が多い現状を踏まえ、安全確保や環境整備に一層努めていただきたいと思います。

学校教育の推進については“21世紀を生き抜くための力を育成する”“現代社会が直面する課題への柔軟な対応”の二点が要だと思います。何れも、教育を取り巻く厳しい現状と突き合わせれば、具体的な成果が求められる課題だと認識する必要があります。その点に着目すれば、各項目において「校長先生の年度末評価」「生徒や参加者のアンケート」などの結果を一つの指標としていることは、自己評価の信憑性を高めるものとして十分に評価できます。また、その多くが効果や成果を得ることができたという内容であることは、現状を踏まえた事業実施によって一定の目的を達成したことを裏付けるものだと思います。今後も、児童・生徒や保護者、第三者等の声に耳を傾けながら「夢や志を支え、知・徳・体が調和する学校教育の推進」に向けて取り組まれることを期待してやみません。

2 家庭や地域での学びを生かし、つながりを大切にする社会教育の推進

(1) 青少年への教育活動の充実

著しく変化する環境に対応できる生きる力を育み、協調性や自主性等の社会性を養う。

(社会教育課)

平成28年度当初予算額	2,606,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	1,454,723円	平成28年度執行率	55.8%
事業計画	1 子ども宿泊体験学習会(一泊二日) 年1回/市内小学校5・6年生対象/10地区公民館での社会体験や集団生活	415千円	
	2 知って得トク体験学習会(一泊二日) 年1回/中学生対象/県内でのレスキューや自然体験	398千円	
	3 リーダーまるかじり体験塾 年4回/中・高校生対象/イベント等の計画から実践まで	645千円	
	4 成人式 1月/オープニング・記念式典・記念写真撮影	656千円	
事業実績	1 子ども宿泊体験学習会 集団生活の中で、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、関係機関との連携し、地域で子どもを育む気運を高めることができた。 ・ 中郷公民館 9/23(金)・24(土) 【7名】 ・ 六郷公民館 11/20(日)～23(水) 【11名】 ・ 山形公民館 7/21(木)・22(金) 【11名】 ・ 浅瀬石公民館 10/21(金)・22(土) 【15名】 ・ 東公民館 8/18(木)・19(金) 【7名】 ・ 牡丹平公民館 11/12(土)・13(日) 【8名】 ・ 追子野木公民館 7/22(金)・23(土) 【14名】 ・ 上十川公民館 7/23(土)・24(日) 【5名】 ・ 西部地区センター 10/15(土)・16(日) 【11名】		
	2 知って得トク体験学習会 野外活動を主とした体験学習会を通して、社会性を養い、心身ともに健全な育成と資質の向上を図るため、事業を計画し参加者の参集を行った。 当年度から、協力団体であるNPO「岩木自然学校」の方針転換により、当課単独で事業を実施することとなり、トレッキングやカヌー体験等の専門的なプログラムを企画することが出来ず、レクリエーションゲーム等を中心としたプログラムを企画したものの、目玉となるプログラムが抜けたことで、事業実施予定人数を確保することが叶わず、事業を中止とした。 ① 青森県立梵珠自然の家 7/26(火)～27(水) 中止 ② 五所川原市金木町 2/13(月) 中止		
	3 リーダーまるかじり体験塾 地域や学校でリーダーを担う青少年を対象に、コミュニケーション能力を高め、様々な体験をすることにより、自主性やリーダーとしての資質向上を図った。		

	<p>【第1講座】 なかまづくり ～TEAMまるかじり結成～ 7/2(土) 【14名】</p> <p>【第2講座】 TEAMまるかじり強化合宿 ～くろいしを考える～ 7/23(土)～24(日) 【16名】</p> <p>【第3講座】 市長と話そう ～市長にいろいろ聞いてみよう～ 8/7(日) 【18名】</p> <p>【第4講座】 くろいしのルーツを歩いて辿ろう 9/10(土) 【22名】</p> <p>4 黒石市成人式</p> <p>新成人を祝福、激励し、黒石市の将来を担う市民としての自覚を促すとともに、意識の高揚を図った。</p> <p>1/8(日) 【311名】</p> <p>プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングセレモニー (ヒップホップダンス) 出演者/S. D. C. C. DANCE STUDIO ※市内ダンスグループ ・ 式典 ・ 記念写真撮影
自己評価	B
評価理由	子ども宿泊体験学習事業、リーダーまるかじり体験塾事業、黒石市成人式事業に関しては、おおむね計画どおり実施し、各事業が掲げる目標も達成できたが、知って得トク体験学習会事業が中止となったため、上記評価とした。
問題点	体験型の学習がますます重要視されてきた今、地域等で子どもを育成する土壌の強化の必要性が増している。一方で、少子化や学校適正配置等の子どもを取り巻く環境の変化にも柔軟に対応して行く必要がある。
今後の取組	上記の課題を踏まえ、事業内容を精査し、事業を実施していく。
外部評価	B

(教育研究所)

平成28年度当初予算額	387,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	299,983円	平成28年度執行率	77.5%
事業計画	1 科学教室 年4回/科学の有用性と興味・関心の向上	228千円	
	2 未来の科学の夢絵画展 年1回/科学への興味・関心と探究心の醸成	87千円	
	3 児童生徒理科研究発表会 年1回/科学的思考力の向上	72千円	
事業実績	1 科学教室 (1) 科学教室 (小4～6年) 夏 季 H28. 7. 2 浅虫 16名参加		

	<p>秋 季 H28. 10. 1 梵珠 3名参加</p> <p>(2) 親子科学教室 (小1～3年)</p> <p>夏休み H28. 8. 17 43名参加 (42組)</p> <p>冬休み H29. 1. 6 35名参加 (34組)</p> <p>2 未来の科学の夢絵画展</p> <p>H28. 9. 3～4まで開催 出品数 53点</p> <p>3 児童生徒理科研究発表会</p> <p>H28. 10. 15 発表者 小学生12名</p>
自己評価	B
評価理由	<p>各科学教室は、参加児童の学年に応じた内容で実施しており、参加児童のアンケート結果では次年度も参加したいと大変好評であった。参加人数が多かった親子科学教室は、午前・午後と2回に分けて実施した。</p> <p>児童生徒理科研究発表会で発表した作品を一冊にまとめた理科研究集録「めばえ」を刊行し、各小・中学校へ配布した。</p>
問題点	科学教室 (夏季及び秋季) の参加対象者は小学校4年生以上の上学年が対象であるが、参加人数が少ない。
今後の取組	参加人数の少ない上学年対象の秋季野外科学教室は、科学実験を主とした親子科学教室として実施する。
外部評価	B

(2) 成人への教育活動の充実

心身ともに健康で生きがいのある充実した生活を送ることができる環境の充実を図る。

(社会教育課)

平成28年度当初予算額	413,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	188,254円	平成28年度執行率	45.5%
事業計画	<p>1 実年式 143千円</p> <p>H28. 9/記念式典・講演・記念写真撮影</p> <p>2 くろいし市民大学 198千円</p> <p>H28. 6-12/昼の部5回・夜の部1回/健康教育・歴史教育・その他一般教養</p>		
事業実績	<p>1 実年式</p> <p>対象者が事業を通して、今後の人生において生きがいのある生活を送るため、より一層の社会参加と地域づくりへの理解を深める一助とすることができた。</p> <p>9/11 (日) 【63名】</p> <p>プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念写真撮影 ・ 式典 ・ 記念講演 		

	<p>テーマ 「生涯現役」</p> <p>講師 ツガルサイコー代表取締役会長 福士 収蔵</p> <p>2 くろいし市民大学</p> <p>市民の生涯を通して豊かで充実した人生を送るため、一般教養や専門知識を学習することにより、本市の教育・文化の向上に資することとなった。</p> <p>【331名】</p> <p>【第1講座】 6/15 (水) テーマ 「津軽の昔ばなしと歴史」 講師 津軽かたりべの会 会長 菊地 菊代</p> <p>【第2講座】 6/23 (木) テーマ 「高齢社会と介護」 講師 弘前大学大学院保健学研究科 講師 米内山 千賀子</p> <p>【第3講座】 6/30 (木) テーマ 「津軽三十三観音の成立ちについて」 講師 青森県立郷土館学芸課 課長 古川 実</p> <p>【第4講座】 7/ 6 (水) 津軽三十三観音霊場めぐり (移動学習)</p> <p>【第5講座】 7/13 (水) テーマ 「電力小売全面自由化について」 講師 東北電力(株)弘前営業所副所長 木浪 和義</p> <p>【夜間講座】 11/25 (金) テーマ 「終活を始めよう～充実した人生のために～」 講師 上級就活カウンセラー 村井 麻矢</p>
自己評価	A
評価理由	<p>実年式では、式典後に実年グループ「ピンコロフレンズ会」の立ち上げに結び付き、今後の会の活動が期待されるとともに、会員同士の新たなつながりが別の新たな活動に結び付き、地域活動の盛り上がり波及していくことが期待できる。くろいし市民大学に関しても定員数近く参加を得ており、今後も内容を精査しながら事業を継続していく。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>1 実年式</p> <p>アクティブシニアとしての活動の推進を図る必要があるため、新たな社会参加・地域参画への自覚と意識の向上を図っていく。</p> <p>2 くろいし市民大学</p> <p>心身ともに健康で生きがいのある充実した生活を送ることができる環境の充実を図るため、市民を対象に講座等の学習会を通して、一般教養や専門知識を養っていく。</p>
外部評価	A

(3) 家庭教育の支援

子どもの生活習慣の習得や自立心の育成など教育の原点である家庭教育が、自覚と責任によっ

て行われるよう、様々な学習機会の提供と支援者の人材育成・発掘により、幅広い家庭教育の支援に努める。

(社会教育課)

平成28年度当初予算額	374,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	165,662円	平成28年度執行率	44.3%
事業計画	家庭教育講座 (H27繰越) 374千円 年11回／家庭教育支援セミナーとして、開催を希望する学校及び公民館において実施		
事業実績	<p>※地方創生加速化交付金事業の一つとして、家庭教育向上事業として実施。</p> <p>◆ 家庭教育向上事業</p> <p>子どもの生活習慣の習得や自立心の育成など教育の原点である家庭教育が、自覚と責任によって行われるよう、様々な学習機会の提供と支援者の人材育成・発掘により、幅広い家庭教育の支援に努めるとともに、家庭教育の拡充としては、講座等の学習会を通して、子育てや家族のあり方・役割を認識させ、地域全体で家庭教育の支援体制づくりを進めた。</p> <p>◇ 家庭教育講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 牡丹平小学校 6/29 (水) 【53名】 テーマ 「牡丹平の歴史」 講師 黒石市教育委員会 文化スポーツ課 鈴木 徹 ・ 六郷小学校 9/17 (土) 【30名】 テーマ 「LINEの紹介と子どもたちが インターネットを利用する際の注意事項」 講師 LINE株式会社 LINEオフィシャルインストラクター 柴田 保文 ・ 上十川小学校 12/1 (木) 【48名】 テーマ 「インターネットの安心安全な使い方」 講師 総務省東北総合通信局 情報通信電気通信事業課 政策担当消費者担当企画監理官 吉田 晋 ・ 黒石市連合PTA 12/10 (土) 【102名】 テーマ 「子育て川柳奮闘記」 講師 方言研究家、川柳作家 渋谷 伯龍 <p>◇ 家庭教育支援セミナー</p> <p>家庭教育に係る支援者候補生を募集し、実行委員方式で以下のイベントの計画・実施・ふりかえりを行うことで、支援者候補生の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「笑 ○ 和」ひろばへ家族でGO! 10/23 (日) 【23名】 ・ 公開講座 10/31 (月) 【39名】 テーマ 「続・笑って元気パートⅡ」 ～地域で支え合う家庭教育・子育て支援～ 講師 おおいた観光特使 矢野大和事務所 矢野 大和 <p>◇ 家庭教育推進協議会</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1回会議」年間日程発表、本年度事業概要報告 5/24 (火) ・「第2回会議」中間報告、次年度事業計画案策定 10/26 (水) ・「第3回会議」実績報告、次年度計画案発表 2/ 8 (水)
自己評価	B
評価理由	家庭教育向上事業として実施することとなり、家庭教育推進協議会の評価・助言を受けながら、家庭教育講座及び家庭教育支援セミナーを実施し、事業目的の達成を図ることができた。B評価としたのは、家庭教育支援セミナーにおいて、工夫や努力の必要があると判断したためである。
問題点	家庭教育支援セミナーに関しては家庭教育に係る支援者の候補生を実行委員として参集した上で、実行委員の中でイベントの計画・実施・ふりかえりを行うという手法で事業を実施し、イベント参加者からの好評を得たが、イベント実施日の選定や、イベント参加者への募集における周知期間の延長等の工夫により、更なる参加者の増員を図ることが可能であると思われる。
今後の取組	上記の問題に対して、前述したとおり、実行委員の募集を早めることで、イベント実施日の適切な選定や、イベント参加者への周知期間の延長により、更なる参加者の増員を図ることで、実行委員（家庭教育に係る支援者候補生）への学びの効果を向上させていく。
外部評価	B

(4) 地域教育力の向上

住民主導型の具体的・実践的な企画運営による「個性ある地域活動」の充実をめざし、学校及び地域の連携による教育力の向上と地域活性化コーディネーターの育成に努める。

(社会教育課)

平成28年度当初予算額	565,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	356,132円	平成28年度執行率	63%
事業計画	1 地域の課題解決力向上事業 (H27繰越) 353千円		
	(1) 地域組織力向上研修会(年4回)		
	(2) 公民館等職員資質向上研修会(年4回)		
	2 研修会への参加 102千円		
	年2回/学・社連携推進研修会/コミュニティネットワーク研修会/県・中弘南黒主催研修会		
事業実績	3 情報の共有会議		
	(1) 各地区協議会・各公民館等・社会教育課合同連絡会議(年3回)		
	(2) 公民館等・社会教育課合同連絡会議(月1回)		
	4 社会教育関係団体への活動支援 110千円		
	1 地域の課題解決力向上事業 211,460円		
	(1) 地域力向上研修会		

- ・ 1回目：H28. 10. 5 黒石市産業会館 28名参加
 テーマ：OH！！鰐 元気隊による子ども達のまちづくり参加
 講師：プロジェクトおおわに事業協同組合 副理事長 相馬 康穂 氏
 手法：事例発表・講演
- ・ 2回目：H28. 11. 18 黒石市産業会館 24名参加
 テーマ：空き校舎を活用した川代地区の地域づくり
 ～新郷村の元気は川代地区から～
 講師：新郷村川代地区振興会 代表 小笠原 敏彦 氏
 手法：事例発表・講演
- ・ 3回目：H28. 12. 20 黒石市産業会館 13名参加
 テーマ：課題に取り組む地域づくり
 ～これからの地域活動のあり方を考える～
 講師：弘前大学 教育学部 講師 松本 大 氏
 手法：講演・ワークショップ
- ・ 4回目：H29. 1. 17 黒石市産業会館 16名参加
 テーマ：地域コミュニティからコミュニティビジネスの移行
 講師：（一社）政策集団地域再生青森会議 専務理事 三上 亨 氏

(2) 公民館等職員資質向上研修会

- ・ 1回目：H28. 7. 8 六郷公民館 28名参加
 テーマ：公民館職員のファシリテーター養成講座①
 講師：弘前大学 教育学部 講師 松本 大 氏
 手法：講義・ワークショップ
- ・ 2回目：H28. 8. 18 追子野木公民館 24名参加
 テーマ：公民館職員のファシリテーター養成講座②
 講師：弘前大学 教育学部 講師 松本 大 氏
 手法：講義・ワークショップ
- ・ 3回目：H28. 11. 10 中部公民館 25名参加
 テーマ：公民館事業実績の評価
 講師：弘前学院大学 文学部 准教授 生島 美和 氏
 手法：講義・ワークショップ
- ・ 4回目：H28. 12. 22 山形公民館 23名参加
 テーマ：公民館事業実績に係る問題・課題の設定
 講師：弘前学院大学 文学部 准教授 生島 美和 氏
 手法：講義・ワークショップ

2 研修会への参加

54,672円

(1) 学・社連携推進研修会 50名参加

- ・ H29. 2. 21 黒石市産業会館
 テーマ：今後の学校適正配置に伴う学校と地域の連携とは
 講師：国立大学法人 弘前大学 名誉教授 佐藤 三三 氏

	<p>手 法：講演</p> <p>(2) コミュニティネットワーク研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H28. 10. 25 黒石市産業会館 44名参加 <p>テーマ：女性の力を生かしたコミュニティビジネス ～市民の居場所“ハピたのかふえ”～</p> <p>講 師：(特)十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子 氏</p> <p>(3) 県・中弘南黒主催研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館パワーアップ講座 H28. 6. 2/H29. 2. 6 延べ22名参加 ・ 市町村社会教育主事等専門地区研修 H28. 6. 3 4名参加 ・ 第57回青森県公民館研究フォーラム H28. 10. 27 3名参加 <p>3 情報の共有会議</p> <p>(1) 各地区協議会・各公民館等・社会教育課合同連絡会議</p> <p>H28. 4. 28 50名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育課の重点事業・事務分掌について ・ 各公民館等・社会教育課の事業実績報告について <p>H28. 10. 7 50名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新年度予算等について <p>H29. 3. 24 50名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石市教育大綱及び社会教育課の重点施策について ・ 各公民館・地区センター、社会教育課の事業計画について <p>(2) 公民館等・社会教育課合同連絡会議</p> <p>H28. 4～H29. 3 計12回（内4回は職員研修） 延べ320名参加</p> <p>地区公民館等に関する情報交換と課題解決のための協議及び公民館等・ 社会教育課による事務連絡等</p> <p>4 社会教育関係団体への活動支援 90,000円</p> <p>(1) 補助金の交付</p> <p>市連合婦人会 90,000円</p> <p>(2) 事業企画への助言</p> <p>各種団体が主催する事業に対し、企画助言・資料作成・文書配布・事業参加など様々な支援を行った。</p>
自己評価	B
評価理由	<p>地域力向上研修会では、地域住民自らが主体となって活動するための意識啓発を図ることができたと思う。また、公民館等職員研修会では、地域活動を支援する職員のスキルアップのほか、公民館等で実施している事業の評価方法に焦点を当てたことで、P D C Aサイクルによる一連の活動形態の基盤が確立できた。</p> <p>学・社連携推進研修会では、学校適正配置に伴い、今後の学校と地域のあり方や活動内容を見直す時期であることから、テーマや参加対象者の範囲を絞り実施した。</p>

	<p>コミュニティネットワーク研修会では、共催する企画課との打ち合わせを行い、女性の力を活用したまちづくりとコミュニティビジネスによるまちづくりの両視点から講師の選定やテーマを決定した。女性の登用の必要性を踏まえた今後の地域活動の参考となる機会を提供することができた。</p> <p>上記研修会を受け、ある地区では課題解決に向けて参考事例を取り込もうとする意欲や行動が見受けられた。</p> <p>情報の共有会議では各公民館・地区センター指定管理者及び職員相互の情報交換及び情報共有が行われたほか、社会教育課との連携が強化されている。</p> <p>社会教育関係団体への活動支援としては、市補助金を交付する以外に、姉妹都市である宮古市婦人会主催の芸能祭事業へ参加し、団体相互の親睦を深めてもらうため、送迎や宿の手配、宮古市婦人会との連絡調整等を行った。</p>
問題点	<p>市全体としての視点から地域課題や当面の問題を探り、解決の一助となるようなテーマや講師を選ぶ必要がある。</p> <p>また、当面の課題である学校適正配置に伴い、今後の地域と学校の連携や活動の課題を探り、相互の良好な関係を構築するための解決策を見出す必要がある。</p> <p>各指定管理者において、施設の維持管理及び運営に関して、未だ詳しく理解していない事項が見受けられる。</p> <p>各公民館・地区センター職員との連絡会議においては、事前に開催計画を立てているにも関わらず、会議軽視の意識があるのか、参加しない職員が見られることから、再度、共通理解を図るとともに、公民館等職員の意識改革が必要である。</p>
今後の取組	<p>住民自らが地区協議会や各種団体、学校との連携・協働により、地域や生活課題の解決に向けた住民自治能力の意識の高揚と、地域のリーダーとなる人材の養成・発掘を図るとともに、地域団体活動を支援する公民館等職員に対し、公民館機能を充実させていくための知識の習得や技術の向上を図る研修会を実施し、個々の力量形成を図る。</p> <p>各指定管理者と公民館・地区センターの管理運営及び業務に関する共通理解を図る。</p>
外部評価	B

(5) 読書環境の充実

生涯にわたり読書習慣を身に付けられるよう読書環境を整備し、積極的な読書意欲の向上を図る。

(社会教育課)

平成28年度当初予算額	951,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	948,336円	平成28年度執行率	99.7%
事業計画	1 図書コーナーの運営	815千円	
	(1) 読書事業等	65千円	

	(2) 図書選定会の開催・図書購入	750千円	
	2 ほるぷ子ども館の運営	136千円	
	(1) 読書事業等	16千円	
	(2) 図書選定会の開催・図書購入	120千円	
	3 読み聞かせや朝読グループとの交流会		
	4 第2次子ども読書活動推進計画の策定		
事業実績	1 図書コーナーの運営		
	(1) 読書事業等		
	・ レファレンスサービス	2件	
	・ 共通利用券の発行	81件	
	・ 県立図書館との相互貸借	393件	
	・ オンライン貸出取次ぎ	186件	
	・ 図書貸出件数	7,724件	
	・ 図書貸出冊数	26,898件	
	・ 出前おはなし会	16回	延1,224名参加
	・ おはなし会	9回	延96名参加
	・ こどものつどい	1回	60名参加
	・ 夏のおたのしみ会	1回	28名参加
	・ ブックスタートへの支援	毎月1回	195組参加
	(2) 図書選定会の開催・図書購入		
	・ 図書選定会	H28. 5. 25/H28. 10. 20	
	書店における実物選定、新刊案内・パンフレットによる選定、リクエストの活用		
	・ 図書購入	490冊	
		758,462円	
	2 ほるぷ子ども館の運営		
	(1) 読書事業等		
	・ 黒石ほるぷ子ども館情報の発行	毎月1回	
	山形公民館の広報紙に黒石ほるぷ子ども館の事業案内、図書の紹介や休館日等の情報を掲載し地域住民に周知		
	・ おはなしのじかん	10回	延117名
・ 春のおはなし会	1回	45名	
・ 秋のおはなし会	1回	28名	
・ 夏休みちゃれんじ	1回	18名	
・ 冬休みちゃれんじ	1回	17名	
(2) 図書選定会の開催・図書購入			
・ 図書選定会	H28. 6. 29		
書店における実物選定、新刊案内・パンフレットによる選定、リクエストの活用			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書購入 90冊 120,874円 <p>3 読み聞かせや朝読グループとの交流会 H28. 6. 29 市内で活動している読み聞かせや朝読グループの活動状況等の情報交換及び共有、各グループ同士の交流等</p> <p>4 第2次子ども読書活動推進計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第1回会議：H28. 6. 13 黒石市産業会館大会議室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要項（案）について ・ 委員長選出及び副委員長の選出について ・ 黒石市子ども読書活動推進計画の策定に係る日程等について ◆第2回会議：H28. 7. 7 黒石市産業会館大会議室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石市子ども読書活動推進計画の検証について ◆第3回会議：H28. 9. 20 黒石市産業会館大会議室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石市子ども読書活動推進計画の検証について ◆第4回会議：H28. 11. 24 黒石市産業会館大会議室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石市子ども読書活動推進計画の内容協議及び決定について ◆第5回会議：H29. 1. 19 黒石市産業会館大会議室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石市子ども読書活動推進計画の内容協議の確認及び校正決定について ◆H29. 3 教育委員会第3回定例会にて承認、策定
自己評価	B
評価理由	<p>読書活動の楽しさを知り、本と触れ合う機会を提供するため、様々な事業を展開できた。</p> <p>また、出前おはなし会などを実施するうえで、読み聞かせグループや図書関係団体と連携を図ることで、より良い内容が展開できている。</p> <p>第2次子ども読書活動推進計画の策定では、読書活動関係団体の方々に策定委員として協力していただいたことで、内容により深みをもたせることができた。</p>
問題点	<p>利用者のニーズに合わせた本の選定や団体貸し出しを行っているが、新刊図書の情報提供が乏しい。</p>
今後の取組	<p>子どもが平等に読書と親しむことにより「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高める」など読書活動による様々な効果を高め、子どもの読書活動を支えるための整備に努める。</p> <p>また、新刊図書や推薦図書の情報が乏しいとの指摘があることから、市民に薦める本の展示や推薦図書リストの作成、ホームページなどでの情報発信に努める。</p> <p>さらに、市民の「読書離れ」が進んでいることから、子どものうちから読書意欲を高め、読書活動を推進していくために、読み聞かせをはじめとする、本と触れ合う機会の提供と、大人が子どもの読書活動に対し積極的に働きかける環境づくりを地域全体で取り組んでいく。</p>

	子ども読書活動を推進する団体やサークルに対して、活動場所の提供や活動に必要な知識、製本等の技術を習得するための学習機会の提供及び支援を行う。
外部評価	B

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	図書更新 1,718,000円 積み立て 2,000円			【継続事業】
平成28年度決算額	図書更新 1,697,559円 積み立て 976,011円	平成28年度執行率	図書更新 98.8% 積み立て 48,800.6%	
事業計画	1 学校図書館図書の更新 2 学校図書購入資金積立て		1,718千円 2千円	
事業実績	1 学校図書館図書の更新 幼稚園 予算 15,000円 執行済額 14,882円 小学校 予算 1,064,000円 執行済額 1,059,554円 中学校 予算 639,000円 執行済額 623,123円 2 学校図書購入資金積立て 12件		1,682,677円 976,011円	
自己評価	B			
評価理由	学校図書館図書の更新は、計画のとおり執行できた。 学校図書購入資金積立は、積み立てた寄附金等を中学校へ学校図書購入予算として配分する予定だったが、中学校統合もあり、学校担当者と協議した結果、1年先送りすることとしたためB評価とした。			
問題点	統合しない中学校にも配分していない。			
今後の取組	財政的にも厳しい状況が続いており一般財源からの予算確保が困難なため、学校と協議しながら、寄附による積立や統合で閉校した学校の図書を有効的に活用していく。			
外部評価	A			

(6) 社会教育施設の充実

社会教育推進の拠点となる各施設の整備を図り、施設が持つ機能を活かす管理・運営に努めるとともに生涯学習の振興を推進する。

(社会教育課)

平成28年度当初予算額	86,580,000円			【継続事業】
平成28年度決算額	87,751,280円	平成28年度執行率	101.4%	

事業計画	<p>1 社会教育施設設備の整備 2,102千円 浅瀬石公民館窓サッシ修繕／中郷公民館床改修工事／ほるぷ子ども館塀設置工事／青少年ホーム内壁修繕工事／青少年ホーム窓ガラス交換修繕／青少年ホーム地下タンク廃止処分工事／西部地区センター多目的ホール暖房設備修繕工事</p> <p>2 指定管理者による管理運営 84,478千円 (1) 農村環境改善センター 2,892千円 (2) 公民館(8館)・西部地区センター 67,889千円 (3) 勤労青少年ホーム 13,697千円</p> <p>3 黒石市民文化会館・黒石公民館一部再開の検討</p>
事業実績	<p>1 社会教育施設設備の整備 3,274千円 浅瀬石公民館窓サッシ修繕工事 99,360円 浅瀬石公民館調理室非常口サッシ修繕 37,800円 中郷公民館床改修工事 240,840円 上十川公民館暖房設備改修工事 1,274,400円 ほるぷ子ども館塀設置工事 805,680円 青少年ホーム内壁修繕工事 74,520円 青少年ホーム窓ガラス交換修繕 99,360円 青少年ホーム2階誘導灯取替 42,120円 青少年ホーム地下タンク廃止処分工事 307,800円 西部地区センター多目的ホール暖房設備修繕工事 291,600円</p> <p>2 指定管理者による管理運営 (1) 農村環境改善センター 2,892千円 (2) 公民館(8館)・西部地区センター 67,889千円 (3) 勤労青少年ホーム 13,697千円</p> <p>3 黒石市民文化会館・黒石公民館一部再開の検討 平成29年2月上旬に、黒石市民文化会館・黒石公民館一部再開に関して平成23年度に調査・試算した工事費を、再度、社会教育課で調査・検討し、平成29年2月24日に、社会教育課長から市長へ説明</p>
自己評価	B
評価理由	<p>施設の整備に関しては、限られた予算の中で、計画的に改修工事等を実施したほか、各関係機関と連携を図り、次年度へ向けた改修計画を立てることができた。</p> <p>施設の管理運営に関しては、指定管理者及び公民館・地区センター職員に対して助言を行っているほか、指定管理料についても適正に支出されている。</p> <p>また、自然災害が危惧される警報が発令された場合や、それに伴う自主避難者への対応に関しては、作成した緊急連絡網を基に、各公民館・地区センター職員と社会教育課の連携により、円滑に行うことができている。</p>

問題点	社会教育課所管の施設の老朽化が進んでいる。
今後の取組	社会教育課所管の施設の老朽化が進んでいることから、当課としては適正な改修計画を立て維持管理に努めるとともに、利用者の安全と利便性を確保する。 また、各公民館・地区センターにおいては指定管理者と連携し、必要に応じて施設の管理運営に関する指導・助言を行う。
外部評価	A

(7) キャリア教育の推進

子どもが、将来、社会人・職業人として自立できるよう、精神的なたくましさや忍耐力、協調性、自主性を養う。

(指導課)

平成28年度当初予算額	2,000円	【新規事業／継続事業】	
平成28年度決算額	2,000円	平成28年度執行率	100%
事業計画	黒石市キャリア教育連絡協議会 年1回／教職員・市内高校進路指導担当者・商工会議所・公共職業安定所等関係者参集予定／職場体験学習情報の交換・共有		
事業実績	黒石市キャリア教育連絡協議会 H29. 2. 7 ・ キャリア教育の実施について 講師：青森県総合学校教育センター指導主事 ・ 商工会議所、公共職業安定所よりキャリア教育と就職状況について情報提供 講師：商工会議所職員、公共職業安定所職員 ・ 市内小・中・高等学校のキャリア担当者の先生方による情報交換		
自己評価	A		
評価理由	青森県総合学校教育センター指導主事から、各学校のキャリア教育推進に向けて参考となる指導方法などについて情報提供をいただいた。黒石公共職業安定所、黒石商工会議所の職員からは、黒石市内の企業の情報や、企業の求める人材像について話を聞くことができた。また、黒石市内の小・中・高等学校におけるキャリア教育の現状について情報交換をすることができ、各校種の発達段階に応じたキャリア教育について確認することができた。		
問題点	なし		
今後の取組	引き続き青森県教育委員会が作成した小・中学校と高等学校における12年間を見通したキャリアノートの活用を図りたい。		
外部評価	A		

【外部評価コメント】

黒石市民大学における延べ331名の参加者数には目を見張るものがあります。講座内容が多くの人々の興味・関心にもとづき、参加者の学習意欲を掻き立てる素晴らしいものであった証ではないでしょうか。自己評価の理由に「今後も内容を精査しながら事業を継続していく」とあります。この姿勢こそが好評を得た大きな要因だと思います。

今後も本講座に対する要望に耳を傾けながら、魅力溢れる講座を目指し尽力して下さること心から願っています。

ここ数年の家庭教育講座のテーマは、「情報モラル」や「いじめ」「食生活」「コミュニケーションの取り方」など、子どもや親の抱えている悩みや問題に直結する内容となっています。参加者にとって、参考になることの多い実りある講座だと感じました。

それ故、一部の講座を除いては、参加の募集が開催地区（学校）のPTAで止まっている点が残念です。社会教育課が運営主体となり、どこで行われる講座でも、誰でも参加できる講座を目指して欲しいものです。

青少年への教育活動の充実では、地域における関係機関との連携を図りながら多岐にわたる活動を展開し、一定の成果をあげていると評価する。

昨年度も取り上げたが、青少年の健全育成に関する記載が見あたらないことが気になる。拠点となる青少年相談センターの機能の強化と地域ぐるみの取り組みが必要不可欠なことから、相談指導体制の整備と地域の人達との協力関係を更に深めて、健全育成の推進を図っていただきたい。

生涯学習活動に男性や若者の参加を促すことは、現状では難しくなっているが、あえて、それにねばり強く挑戦していく姿勢を期待する。

家庭教育向上事業・支援セミナーは工夫が見られ、今後が期待できる事業だと思う。今後の取組において、更なる参加者の増員を図る旨の記載をしているが、参加者数のこだわりも必要だが、事業目標の達成状況を通じて、どのような成果や効果が見られたかの分析を深めることを期待する。大事に育てていただきたい。

第2次子ども読書活動推進計画の策定に伴い、全ての子どもが読書の喜びや楽しみを味わうことができるよう、学校を始め、スポカルイン黒石図書コーナー、各公民館との連携をより深め、子ども読書活動の推進を図っていただきたい。

キャリア教育の推進では、施策として打ち出す以上は、どのような効果を狙い、具体的にどういう成果を期待すればいいのかが見えるようになることを願う。理念を明確に持ちつつ、12年間を通したキャリアノートの活用を促し、ノートを活用した授業づくりなど幅広い継続的な取り組みを期待する。

少子高齢化が進む社会環境の中で地域における青少年教育や成人教育は、大きな転換が求められています。それらを踏まえて、子ども会に特化しない地域リーダーの養成を目的とする宿泊体験や体験塾、自然科学への興味を高める科学教室、アクティブシニアをめざす実年式や市民大学などの各事業は、これからの地域の在り方を変える可能性を秘めています。

ると思います。地域の“現在と未来”を支える人材育成という信念を持って継続されることを望みます。総じて参加者が伸び悩んでいるという課題については、公民館や学校との情報共有や連携、協働による企画立案などによって活路が見いだせるものと考えます。特に、青少年の体験事業の委譲も検討している公民館の機能強化を図りながら、地区の現状を十分に把握・分析した上で課題を整理し、ニーズに裏付けされた事業によって参加者の増が図られることを期待します。

地域教育力の向上については、地域力の向上や連携の在り方を重点に様々な研修やセミナーの実施に努めています。それらの取り組みが成果を生み出すためには“地域活性化コーディネーター”と位置づけている公民館職員の資質向上が重要であり、それが数年来の大きな課題であることは明確です。現状を踏まえ、地域力向上研修会において公民館実施事業の評価方法に焦点を当てるなど、予算も大幅に増大して鋭意取り組んでいます。それらの取り組みが公民館職員の資質向上に成果として表れること、ひいては地域住民の組織力向上に結びついているか否かを検証することの必要性を痛感します。また、公民館と並んで地域力の鍵を握る地域関係団体については細かな現状把握を実施し、協働できる体制の構築のために活用を図ることを強く希望します。

読書環境の充実については、本市の厳しい財政状況や図書館が無いなどの悪条件の中で、第二次子ども読書活動推進計画が策定されました。ただ、新刊図書の情報提供が乏しいことや学校図書購入資金積立金の未配分など取り組み可能な事業については、できる限り善処いただくことを願います。読書環境の整備は市民の心の醸成や教育に大きな影響を与えるものと考えます。今後は、読み聞かせグループの活動支援や図書コーナーでの各種読書事業など地道な活動の継続をとおして市民の読書に対する意識の醸成に努めながら、推進計画に基づいた環境の充実が図られることを期待します。

社会教育施設の管理運営については「指定管理者及び公民館・地区センター職員に対して助言を行っている」という自己評価がある一方で「各指定管理者において施設の維持管理及び運営に関して、未だに詳しく理解していない事項が見受けられる」と相反する記述があります。また、キャリアノートの活用については、前年同様の課題が明記されています。当該年度における各事業についての検証を充分に行った上で課題を整理し、職員間で共通の認識を図るという作業に時間を費やした上で次年度の事業計画を作成するという仕組み作りの必要性を感じます。

3 歴史と文化を尊重し、感性と創造力を高める芸術文化活動の推進

(1) 文化財の保存と活用

郷土に対する愛着と誇りを持ち、潤いのある市民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存と活用に努める。

(文化スポーツ課)

平成28年度当初予算額	22,616,000円	【継続事業】		
平成28年度決算額	20,079,181円	平成28年度執行率	88.8%	
事業計画	1 伝統的建造物群保存事業	21,345千円		
	(1) 伝統的建造物群保存・防災対策	12,074千円		
	グループモニター式火災報知システムの設置			
	(2) 伝統的建造物群保存・修理	9,020千円		
	山口家住宅土蔵屋根・鳴海家住宅仕込み蔵及び通路屋根の修理			
	(3) 防災設備維持管理	68千円		
	鳴海家住宅防災設備保守点検			
	(4) 環境物件の維持管理	183千円		
	鳴海家庭園／高橋家庭園／西谷家庭園			
	2 文化財の保護	990千円		
	(1) 金平成園指定文化財管理への助成	900千円		
	庭園の除草・剪定・防虫剤散布・雪囲いの設置・撤去／建物の雪囲い設置・撤去・雪下ろし・自動火災報知設備の保守点検			
	(2) 高橋家住宅指定文化財管理への助成	90千円		
	主屋とこみせの雪囲い・雪下ろし／主屋・土蔵の自動火災報知設備保守点検			
3 文化財の活用	281千円			
リーフレットの作成	281千円			
金平成園の集客力を高めるためのリーフレット・ポスター等の作成／大石武学流のサミット開催に伴う市内大石武学流の庭園マップの作成				
4 遺物の展示				
市内の遺跡から出土した遺物の黒石市産業会館第2展示室での展示				
事業実績	1 伝統的建造物群保存事業			
	(1) 伝統的建造物群保存・防災対策	9,808,888円		
	グループモニター式火災報知システム設置	9,614,000円		
	中町地区消火設備用ポンプ保守点検業務	41,040円		
	旅費	121,520円		
	需用費	32,328円		
	(2) 伝統的建造物群保存・修理	9,020,413円		
	山口家住宅土蔵屋根修理工事	6,745,000円		
	鳴海家住宅仕込み蔵及び通路屋根修理工事	2,255,000円		
	需用費	20,413円		
(3) 防災設備維持管理	67,000円			

	鳴海家住宅自動火災報知設備保守点検 67,000円 (4) 環境物件の維持管理 183,000円 鳴海家住宅庭園 100,000円 高橋家住宅庭園 50,000円 西谷家住宅庭園 33,000円 2 文化財の保護 826,000円 (1) 金平成園指定文化財管理への助成 766,000円 (2) 高橋家住宅指定文化財管理への助成 60,000円 3 文化財の活用 173,880円 リーフレットの作成 173,880円 金平成園・チラシ 35,640円 名 称 史跡名勝天然記念物 ・名勝金平成園（澤成園） 規 格 A4・両面印刷 印刷部数 3,000部 金平成園・リーフレット 138,240円 名 称 名勝金平成園（澤成園） 規 格 B4・両面4色カラー印刷・三つ折り 印刷部数 10,000部 4 遺物の展示 0円 長坂(1)遺跡、豊岡(2)遺跡などの出土遺物を黒石市産業会館第2展示室で常設展示。
自己評価	B
評価理由	1 伝統的建造物群保存事業 防災対策事業としてグループモニター式火災報知システムを設置した。伝建地区をグループ分けし、災害情報を共有することにより火災の早期発見、消防への通報、初期消火をグループ内及び地区全体で行うことができることから防災の強化につながった。 2 文化財の保護 国指定文化財である高橋家住宅と金平成園の庭園と建物の維持管理に対して助成した。 重要文化財高橋家住宅の指定文化財管理事業は、平成28年度は、少雪のため雪下ろしは実施しなかった。雪囲いの設置及び撤去、主屋と土蔵に設置している自動火災報知設備の保守点検に対して助成した。 また、金平成園は、庭園については清掃業務をはじめ、薬剤散布、除草、剪定のほか樹木などの雪囲い設置と撤去の実施、建物については清掃業務をはじめ雪囲いの設置と撤去及び自動火災報知設備の保守点検の実施に対して助成した。 助成をすることにより国指定文化財の保存につながり、中町伝統的建造物群保存地区とともに観光資源として活用することが可能になる。

	<p>3 文化財の活用 金平成園のリーフレット及びチラシを作成することにより金平成園のPRにつながり、集客効果を高めることができる。</p> <p>4 遺物の展示 黒石市産業会館の展示室で展示している遺物は、展示替えが実施されない状態で現在に至った。</p>
問題点	発掘調査で出土した遺物の整理確認が終了していない。
今後の取組	遺物の整理確認を早急に行い、展示替えの準備を進めていく。
外部評価	A

(2) 地域の歴史・文化の継承

地域の歴史・文化を正しく理解し、継承していく人材の育成をめざす。

(文化スポーツ課)

平成28年度当初予算額	23,000円	【新規事業／継続事業】	
平成28年度決算額	21,187円	平成28年度執行率	92.1%
事業計画	<p>1 古文書解読講座の支援 23千円 月1回／古文書の解読や昔の事象を学び、地域の歴史文化の理解を深めるため、歴史文化専門員を講師として派遣</p> <p>2 黒石の歴史を学ぶ講座の開講 黒石市の歴史を学び、黒石市への理解を深め郷土愛を育む。</p>		
事業実績	<p>1 古文書解読講座【継続事業】 H28. 4—H29. 3 計12回 21,187円 勤労青少年ホーム会議室 約20名受講 藩庁日記（御国日記）/御香や御茶に親しむ/津軽道中譚/膝栗毛山形路ノ記</p> <p>2 黒石の歴史を学ぶ講座の開講【新規事業】 歴史講座 H29. 2. 1 「中町こみせ通りの歴史と文化」 H29. 2. 15 「黒石市内のコウヤマキ」 H29. 3. 1 「金平成園と黒石市内に所在する大石武学流庭園について」</p>		
自己評価	B		
評価理由	<p>1 古文書解読講座 講座開講前に行っている教材解釈、解読法の事前協議や会務の担当打合せに会員が積極的に参加し、古文書解読への理解を深めることで、地域の歴史・文化を正しく理解することにつながっている。古文書解読のほか、文化活動として御茶や御香に親しむことで文化的な側面からも理解を深めた。</p>		

	<p>古文書解読の力がついた会員が、会員講師として講師を務めることで、地域の歴史・文化を継承していく人材の育成につながっている。</p> <p>平成12年度に市教育委員会主催の古文書解読講座が始まり、そこで解読力をつけた受講者を中心として自主的な運営を目指し、平成18年度に「古文書解読会」が設立された。翌19年度から受講者主体の「古文書解読会」による主催で講座を運営し、市教育委員会でも講師を派遣し支援を続けてきた。</p> <p>「古文書解読会」設立から10年が経過し、現在は3名の会員が講師として活動しており、自主的な運営が可能な体制となった。</p> <p>2 黒石の歴史を学ぶ講座の開講【新規事業】</p> <p>黒石の歴史や文化に興味や知識を持ち、郷土に対する愛着と誇りを深めるため「歴史講座」を開催した。今回の歴史講座は、中町こみせ通りや金平成園を取り組んだ講座であったことから、地域の歴史や文化の理解を深めることができた。</p>
問題点	「歴史講座」については、開催日数や時間が短いこともあり、講座の内容を予定通り行うことができなかった。
今後の取組	古文書解読講座は、「古文書解読会」による自主的な運営が可能な体制となったため、市教育委員会での支援を廃止する。 「歴史講座」は、平成29年度も継続して開催する予定。
外部評価	B

(3) 芸術文化活動の推進

個性豊かな地域文化を創造し発信するため、芸術文化活動に対する意欲の高揚と推進を図る。
(文化スポーツ課)

平成28年度当初予算額	1,939,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	1,507,552円	平成28年度執行率	77.7%
事業計画	1 芸術文化団体の支援	1,532千円	
	(1) 黒石少年少女合唱団の育成	579千円	
	入団式／定期演奏会の実施／通常練習週1回／特別練習年4回		
	(2) 黒石市民文化祭補助金の交付	903千円	
	市民文化祭に係る経費の一部を補助金として交付		
事業実績	(3) 黒石市文化・スポーツ大会出場に対する助成	50千円	
	2 文化表彰	407千円	
	(1) 黒石市文化賞等授与式	407千円	
	H29.2／芸術文化活動に優れた能力を発揮し、顕著な成績を残した個人・団体を表彰		
事業実績	1 芸術文化団体の支援	1,181,018円	
	(1) 黒石少年少女合唱団の育成	456,018円	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入団式 H28. 4. 10 スポカルイン黒石大会議室 入団者3名 ・ 定期演奏会 H28. 12. 11 スポカルイン黒石大会議室 全14曲演奏 ・ 通常練習34回・演奏会前特別練習3回・夏休み特別練習1回 ・ イベント出演 <ul style="list-style-type: none"> H28. 6. 25 東北六魂祭共催イベント「まるっと青森広場」 ワ・ラッセ青森広場 「未来へつなぐメッセージ」 斉唱 H28. 10. 15 「第2回黒石厚生病院健康祭り」 黒石厚生病院1階ホール 「翼をください」ほか 全7曲合唱 <p>(2) 黒石市民文化祭補助金の交付 725, 000円 黒石文化協会（33団体・2個人加盟）に対する補助金の交付 黒石市民文化祭の会場借上料及び照明・音響業務委託に係る経費を補助 生け花・欧風花展 H28. 10. 29-30 黒石市産業会館 展示発表 H28. 10. 29-30 中央スポーツ館 菊花展 H28. 10. 29-30 市民文化会館センターホール 市民茶会 H28. 10. 30 勤労青少年ホーム・金平成園・松の湯交流館 音楽発表 H28. 11. 3 スポカルイン黒石 舞台発表 H28. 11. 6 スポカルイン黒石</p> <p>(3) 黒石市文化・スポーツ大会出場に対する助成 助成対象者0名 0円</p> <p>2 文化表彰 326, 534円</p> <p>(1) 黒石市文化賞等授与式 H29. 2. 26 津軽伝承工芸館 326, 534円 文化功労賞 1名 文化活動（美術） 文化特別賞 1名 文化奨励賞受賞 計15回 文化奨励賞 34名 書道13名/フルート三重奏3名/演劇・絵画・語学・川柳・ポスター・ マーチング各2名/作文・情報処理・新聞感想文・読書感想文・俳句・舞踊 各1名</p>
自己評価	B
評価理由	<p>黒石少年少女合唱団については、定期演奏会のほかイベント出演もあり、広く活動の周知につながった。また、少人数ながらも団員が大きな舞台での演奏を経験したことで、自信を持ち、達成感を得ることが出来た。</p> <p>市民文化祭については、補助金の交付により舞台発表のさらなる充実と安全性の向上が図られている。音響・照明を専門業者に委託することで、舞台演出も向上している。また、今年度は会期をまとめ、市民茶会の会場の一部をこれまでの黒石市産業会館から、松の湯交流館、金平成園へ変更したほか、菊花展の会場を市民文化会館センターホールでの開催とし、市内を回遊しながら文化祭を楽しめるような工夫をした。</p> <p>文化表彰については、各分野における功績を称え表彰することにより、市民の芸術文化活動に対する意欲の向上が図られた。昨年度に引き続き、文化功労賞の受賞があり、また、16年振りに文化特別賞の受賞があったことで、長年、芸術文</p>

	化活動に携わっている人への一層の励みとなった。
問題点	黒石少年少女合唱団については、少子化や児童生徒を取り巻く生活様式、価値観等の多様化により団員確保が困難な状況である。 市民文化祭については、新たな会場として使用した金平成園の市民茶会において、来場者の流れが滞るなどの混乱が生じた。
今後の取組	黒石少年少女合唱団については、ポスター、チラシでの募集活動や、練習の成果を発表する場を設けることで、魅力を伝え活動を広く周知し団員確保に努める。 市民文化祭は、反省点を踏まえ関係者で打合せを密にし、来場者が楽しめる文化祭を開催する。 文化表彰については、新聞記事等での情報を収集することで受賞候補者が漏れることのないよう配慮し、また、特定の分野にとらわれず新たな分野にも目を向け、継続して表彰を続けることで、芸術文化活動への意欲の高揚につなげたい。
外部評価	A

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	500,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	0円	平成28年度執行率	0.0%
事業計画	黒石市立小中学校大会派遣助成 小中学校の文化活動に係る東北大会以上の大会に出場する児童生徒の派遣助成		500千円
事業実績	なし		
自己評価	A		
評価理由	大会派遣に要する経費の一部(3分の2)を助成するため予算措置し、学校からの申請に備えた。平成28年度は該当者がなかったため助成は行わなかったが、該当者がいた場合は速やかに対応できるよう備えることができた。		
問題点	なし		
今後の取組	大会派遣助成を継続していく。		
外部評価	A		

【外部評価コメント】

文化財の保存と活用では、山口家住宅土蔵屋根修理、鳴海家住宅仕込み蔵及び通路屋修理等に務めたり金平成園・高橋家住宅の維持管理に務めたりしている点を大いに評価します。

ただ、文化財の活用では、金平成園のリーフレット及びチラシの作成しか事業記載がないことに若干の物足りなさを感じます。商工観光課をはじめ他の部署や団体との連携なども視野に入れ、更なる活用を目指して欲しいと思います。

また、文化の継承という点では、無形民俗文化財である「大川原の火流し」や「上十川獅子踊」などの保護や支援も必要になってくるような気がします。

中町伝統的建造物群保存地区や国指定文化財高橋家住宅、金平成園を貴重な文化遺産として後世に残すために、関係者・機関とともに努力していることは高い評価である。旧松の湯が交流館として開館し、観光、防災、地域コミュニティの拠点として広く活用されていると判断する。

問題点として記載されているように、市内遺跡からの出土遺物の保管、展示場所の確保が早急に進むことを期待する。

市民参加型事業の開催については、市民が自ら文化活動を行うための受け皿づくりや、すでに文化活動に意欲的に取り組んでいる市民に対する支援といったものを検討する時期を迎えつつあると思われる。子ども達に何を与え、何をつかみとらせていけばよいのか考えながら、黒石の伝統を伝えていく一方で、市民が地元を再発見する機会を増やしていただきたい。

今後とも、未登録の種々多様な文化財の保存・保護に努めるよう啓発活動を推進していくとともに、指定や登録について、所有者との協議を進め、積極的にこれを推進していただきたい。

伝統的建造物群保存事業については、グループモニター式火災報知システムを設置し、防災情報の共有、早期発見、通報等を行う体制の整備を構築しました。また、鳴海家や高橋家をはじめとする伝統的建造物の修理や保守点検を計画に従って実施しています。一方、指定文化財である金平成園及び高家住宅については、雪囲い、保守点検、清掃業務等の管理・保護のために助成を行い、パンフレットやポスターを作成するなど、観光資源としての活用に向けて着実に進んでいる現状は大いに評価できると考えます。

松の湯交流館の管理運営が民間団体に託され、現在は電柱の地中化工事が進められています。伝統的建造物の保存・防災対策に留まらず、予てから目的に掲げている「地域コミュニティの拠点」としての役割を担うことを意識しながら側面からの運営支援に努めていただくことを期待します。ただ、発掘調査で出土した遺物の整理確認が終了していないことから、展示室の展示替えが実施されなかったことが残念です。早急な遺物整理により展示替えを行い、市民の目に触れることで文化財に対する市民の関心を高めることにつなげていただくようお願いします。

設立から10年が経過した古文書解説会の自主的運営の見通しが立ったことは継続的な支援の効果だと思えます。教育委員会として直接的な支援は廃止されるものの側面からの

援助により、地道な活動が継続されることを期待します。また、黒石少年少女合唱団についても社会情勢の変化に伴い団員確保が極めて困難な状況の中で、定期演奏会や多くのイベント出演によって団員の達成感やモチベーションを担保していることは評価できると思います。今後、合唱団の活動を団員確保に結びつけるための具体的な取り組みについて検討する機会を設けるよう願います。

市民文化祭の支援については、音響・照明の業者委託、松の湯交流館や金平成園での市民茶会の開催など、文化財の活用をはじめとして創意・工夫が随所に見られ、大いに評価できる内容であると思います。運営方法の見直しや新たな取り組みには多少のリスクが伴います。反省点や問題点を整理した上で、文化・芸術活動への意欲向上に努められることを期待します。

文化財保存のための修復が終了し、中町の景観整備や伝統的建造物群とあわせて防災対策など維持・管理という次のステージに進んだ感があります。少子化や人口流出など若い世代の地元離れが加速する中で、郷土に対する愛着と誇りを持ちながら潤いのある市民生活を続けるためには、歴史や文化を未来へ伝える活動が重要だと思います。保存や修復された伝統的建造物が観光資源の一翼を担う「まちづくり」「まちおこし」に結びつくよう、活用方法について行政をはじめとする関係機関と十分な議論を交わすことができる体制構築を強く希望します。

4 心身の健康を保ち、活力と感動を生み出すスポーツ活動の推進

(1) 一市民スポーツの推進

市民一人一人が、生活の中に積極的にスポーツを取り入れ、生涯にわたりスポーツに親しむことのできる「一市民スポーツ」の実現をめざし、スポーツ意欲の高揚を図る。

(文化スポーツ課)

平成28年度当初予算額	3,233,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	2,636,454円	平成28年度執行率	81.5%
事業計画	1 競技スポーツ力の向上	1,867千円	
	大会への参加支援	1,499千円	
	東北総合体育大会(8月)／第24回青森県民駅伝競走大会(9月)／第71回市町村対抗青森県民体育大会(8月)		
	テニス教室の開催／2月	268千円	
	黒石市文化・スポーツ大会出場に対する助成	100千円	
	2 学校体育施設の開放	490千円	
	小・中学校11校の実施／述べ57団体		
	3 レクリエーションスポーツの普及	266千円	
	スポーツ推進委員研修／文化財めぐりウォーキングの開催(年2回)／指導者派遣／用具貸出し／おしかけ講座		
	4 スポーツ表彰	610千円	
スポーツ賞等授与式	610千円		
H29.2／スポーツ活動に優れた能力を発揮し、顕著な成績を残した個人を表彰			
事業実績	1 競技スポーツ力の向上	1,737,673円	
	東北総合体育大会 170,000円		
	第24回青森県民駅伝競走大会 H28.9.4 総合12位・市の部8位	339,970円	
	第71回市町村対抗青森県民体育大会 H28.7.30-31 市の部8位	973,608円	
	テニス教室 H28.2.21-3.7 計5回 延179名参加	249,095円	
	黒石市文化・スポーツ大会出場助成事業 助成対象者1名	5,000円	
	2 学校体育施設の開放	283,465円	
	学校施設開放の実施		
	利用団体数：57団体 利用者：延33,096名		
	利用回数：延1,880回 利用時間：延4,189時間		
3 レクリエーションスポーツの普及	247,089円		
スポーツ推進委員研修 245,089円			
スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会(前期研修)(大鰐町) H28.5.22			
東北地区スポーツ推進委員研修会(弘前市) H28.7.8-9			
スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会(後期研修)(弘前市) H28.9.18			
青森県スポーツ推進委員中央研修会(青森市) H28.11.13			
文化財めぐりウォーキング事業 H28.6.26 H28.10.16 延べ76名参加	2,000円		

	<p>レクリエーションスポーツの指導者の派遣及び用具の貸出し</p> <p>講師派遣：10団体 計12回</p> <p>用具貸出：34団体 計54回</p> <p>室内カーリング・フライングディスク・キンボール・グラウンドゴルフ・ユニカー等</p> <p>おしかけ講座 H28. 7. 20 H28. 8. 28 計2回</p> <p>4 スポーツ表彰 368, 227円</p> <p>スポーツ賞等授与式 H29. 2. 26</p> <p>スポーツ功労賞2名・スポーツ賞48名・スポーツ奨励賞25名</p>
自己評価	B
評価理由	<p>県民駅伝競走大会は、成績が低迷している。</p> <p>県民体育大会は、全体的に成績が低迷している。</p> <p>テニス教室は、児童から高齢者まで多数の参加があり、スポーツの普及につながった。</p> <p>文化・スポーツ大会出場助成事業は、市内に在住の児童生徒が東北・全国大会に出場する際の経費の一部を助成し、負担軽減を図ることで、文化・スポーツ振興と競技力向上につながった。</p> <p>学校体育施設の開放は、利用者会議を開催し、今後の方針について説明をした。六郷中の利用団体については、そのほかの開放校に分散することで了承を得て、引き続き利用してもらうこととなった。</p> <p>スポーツ推進委員が各研修会に参加し、自己啓発や知識向上を図った。また、新規委員を確保し、日中の指導者派遣に対応できる体制を整えた。</p> <p>文化財めぐりウォーキングは、多数の参加者を得て好評で開催されている。</p> <p>スポーツ表彰は、各スポーツ競技における功績を称え表彰することにより、受賞者の励みとなるほか、市民のスポーツに対する意識の向上を図ることができた。</p>
問題点	<p>全体の課題として若手選手育成があるが、今後も引き続きスポーツ教室等を開催し、児童・生徒に対する競技スポーツの指導をすることで育成につなげたい。</p> <p>学校施設開放は、平成32年4月からは、市内4小学校での実施となるため、現在利用している全ての団体が利用するのが困難であり、今後の利用調整が必要である。</p> <p>文化財めぐりウォーキングは、魅力あるコースや距離の選定に苦慮している。</p>
今後の取組	<p>スポーツ教室は、新しい種目の選定が必要である。</p> <p>学校施設開放は、中学校の体育施設が利用できないか協議する。</p> <p>おしかけ講座は、6月～11月で各1回ずつ予定している。</p> <p>スポーツ表彰は、スポーツ賞等受賞者審議会において表彰基準に基づき、適正に受賞者の選定を行う。</p>
外部評価	A

(学校教育課)

平成28年度当初予算額	550,000円	【継続事業】	
平成28年度決算額	450,100円	平成28年度執行率	81.8%
事業計画	黒石市立小中学校大会派遣助成 550千円 小中学校のスポーツ活動に係る東北大会以上の大会に出場する児童生徒の派遣助成		
事業実績	小学校 1件 1名 13,900円 中学校 11件 24名 436,200円		
自己評価	A		
評価理由	大会派遣に要する経費の一部(3分の2)を助成するため予算措置し、学校からの申請に速やかに対応できた。		
問題点	なし		
今後の取組	大会派遣助成を継続していく。		
外部評価	A		

(2) スポーツ施設の充実

スポーツ推進の拠点となる施設の整備を図り、施設が持つ機能を活かす管理・運営に努めるとともにスポーツ活動の振興を推進する。

(文化スポーツ課)

平成28年度当初予算額	89,330,080円	【継続事業】	
平成28年度決算額	87,736,814円	平成28年度執行率	98.2%
事業計画	1 スポーツ施設設備の整備 1,650千円 (1) スポカルイン黒石 1,251千円 アリーナ棟機械室自動制御機器交換/アリーナ床修繕/アリーナステージ照明器具取替 (2) 中央スポーツ館 399千円 消化水槽給水装置改修/屋上改修 2 指定管理者による管理運営 87,681千円 (1) スポカルイン黒石 58,833千円 (2) 中央スポーツ館 1,000千円 (3) 武道場 905千円 (4) 運動公園有料施設 26,943千円		
事業実績	1 スポーツ施設設備の整備 2,135,400円 (1) スポカルイン黒石 外灯撤去工事 88,560円		

	<p>アリーナ棟ステージ照明改修工事 305,640円 外灯改修工事 1,209,600円 (2) 中央スポーツ館 消化水槽給水管等改修工事 378,000円 看板設置工事 153,600円</p> <p>2 指定管理者による管理運営 85,601,414円</p> <p>(1) スポカルイン黒石 58,833,000円 利用状況：合計利用者数（有料利用者） 129,035名 ○アリーナ：貸館（378件、53,192名）、一般開放（97件、9,604名） ○会議室（中・大） 貸館 882件、23,356名 ○親子アリーナ 貸館 856件 18,881名 ○フィットネストレーニング室 個人利用 24,002名 ○健康ウォーク 4,223名</p> <p>(2) 中央スポーツ館 1,000,000円 ○利用状況：1,246件 26,624名</p> <p>(3) 武道場 905,000円 ○利用状況：279件 3,390名</p> <p>(4) 運動公園有料施設 24,863,414円 利用状況：合計利用者数 1,587件 42,160名</p>
自己評価	B
評価理由	指定管理者においては、各施設の維持管理業務が計画的に実施されるとともに、予算も有効に活用されている。
問題点	施設が全体的に老朽化しており、計画的に工事等を実施しているが、突発的に工事等が発生し財政負担が増大している。
今後の取組	これまでも施設の工事等の実施については、指定管理者と協議しながら計画的に実施しているが、今後も連携を密にして適切な施設の管理運営に取り組んでいきたい。
外部評価	A

【外部評価コメント】

スポーツ推進委員が中南黒平地区研修会をはじめ多くの研修会に参加している点に、レクリエーションスポーツの普及に向けた強い思いが感じられます。推進委員の資質や知識の向上は、レクリエーションスポーツに興味を抱く市民の増加へ確実に繋がるはずです。スポーツ推進委員の更なる活躍を期待しています。

スポカルイン黒石や中央スポーツ館などの改修工事を通して、市民の利用しやすいスポーツ環境の整備に務めていることが、各施設の利用状況に表れているように思います。

ただ、これまで学校施設開放事業を行っていた学校の中には、閉校により事業継続を終えた所があります。現在はこれまでの利用団体の分散化を図ることで開放施設の減少に対応しているようですが、今後は更なる統廃合が待ち受けています。気軽にそして、安全に安心してスポーツのできる施設の確保が課題になってくるような気がします。

スポーツ推進委員の資質向上を図るなどスポーツ振興にかかる指導體制の整備は適切に進められ、スポーツへのきっかけづくりや生涯スポーツの基礎づくりを目指し、スポーツ教室の開催や軽スポーツの推進などにより、市民の健康増進、体力づくり等々いろんな面で成果をあげていると思われる。

スポーツは、子どもの体力低下の解消や生涯学習等の拡充の観点から、それらの果たす役割がますます重要になっており、今後のスポーツ事業の展開にあたってはこれらの点を踏まえて、子どもから高齢者までが自由に参加でき、市民が広くスポーツに親しむ機会を増やし、生涯にわたって健康を保持できる支援体制の強化を期待する。

文化財めぐりウォーキング事業は、工夫を凝らしながら是非継続させていただきたい。

競技スポーツの向上については、市町村対抗青森県民体育大会への参加支援を中心に、県民駅伝への参加やスポーツ大会への助成などにより、技術力の向上に成果を得ています。課題にあげているとおり、スポーツ教室については、テニスの他に効果が見込める新しい競技がないかどうかについて検討されることを期待します。ただ、県民駅伝と県民体育大会の成績が低迷していることを評価理由にあげていますが、スポーツ意欲の高揚を図ることが目的であり「成績＝結果評価」とならないよう、別の指標による評価を考えてはいかがでしょうか。

レクリエーションスポーツの普及については、スポーツ推進委員の各種研修会への派遣や新規委員の確保など、日中の依頼に応えるための体制整備に務めています。レクリエーションスポーツ普及のためには、指導者の確保や人材育成が重要な課題であると思います。また、長寿社会の中で健康維持のためのレクリエーションスポーツに対する期待やニーズは、ますます増えることが予想されることから、普及・啓発に努めていただくことを期待します。

学校体育施設の開放については、学校の適正配置に伴う統廃合が進められる中で、継続利用についての方針固めや説明など事前調整が図られています。利用団体の実績等から学校開放に対する市民のニーズの高さが伺える現状を踏まえ、また、スポーツ活動の振興を図るという目的や住民コミュニティを形成する数少ない機会だという視点に立って、継続利用について引き続き調整いただくことを期待します。

スポーツ施設の管理運営については、スポカルイン黒石をはじめ運動公園内の各施設等の利用状況から、スポーツを中心に多くの市民に活用されていることが伺えます。それぞれの施設共に規模が大きく、老朽化に伴う修繕工事や改修には予想以上の経費の捻出が必要になる現状にあって、財政負担が増していることが大きな課題となっています。しかし、高齢化社会の中で「健康寿命」の重要性や「生涯スポーツ」に対する意識が年々高まる中で、一市民一スポーツを合い言葉に、市民が生涯にわたりスポーツに親しむことができる健康な黒石市の実現をめざして活動の場を確保いただくことを期待します。

第4章 事務点検評価委員による意見（総括）

黒石市教育委員会事務点検評価委員長 岡村 静市

今年度もまた、黒石市教育委員会の事務の点検・評価に外部評価者として参加させて頂きました。今回は、平成28年度の事業が対象となります。点検・評価活動に入る際、頭をよぎったのは「平成27年度事業分の事務の点検・評価により、平成28年度ではどのような事業改善がなされたのだろう。」ということでした。

資料を手にすると、目を見張る事業が新たに展開されていました。やる気『UPる』塾や小・中学校への学校一斉メールソフトの導入などです。

また、古文書解読講座は、古文書解読会の自主的運営が可能になったことで支援廃止となっていました。安易な事業の打ち切りは反対です。しかし、本事業の支援廃止は古文書解読会の自立に裏打ちされた前向きな事業打ち切りです。事業状況をしっかりと見極めているからこそできたことです。

スクラップ&ビルドがしっかり機能していることに感心させられました。

その他、感想も含め意見を述べさせていただきます。

- 「UPる」先生や特別支援教育支援員の配置に関する事業などでは、財源不足・確保が問題点や今後の取り組みとして記載されています。

これらは、基礎学力の向上やインクルーシブ教育の充実に直結する学校教育上の極めて重要な事項です。教育委員会では、これまでも予算確保に尽力してきたことと思います。しかし、財源は限られています。予算獲得は非常に難しかったのでしょうか。

ただ、教育は人づくりです。未来づくりです。黒石に誇りと愛着を持って、世界に向かって大きく羽ばたく人材を育てるために、今後も本事業の重要性を訴え続け、更なる予算確保に努めて欲しいと思います。

- 事業の中に予算額と決算額に大きな差のあるものがありました。中には執行率が50%以下の事業も見受けられます。それらすべてに疑問を抱いている訳ではありません。

例えば、大会派遣助成事業の場合、支出予測は不可能です。しかし、いつでも助成できるように予算措置は必要です。

ただ、事業計画に対する予算であり、事業実績に対する決算です。執行率が50%以下にも係わらず自己評価が「A」となっている事業の中には、若干の違和感を覚えるものもありました。自己評価方法の見直しが必要な気がします。

- 昨年度の総括意見に、「今年度の方法では、平成27年度事業実績を点検評価し、平成29年度に反映されることになる。1年間のタイムラグが生じる。外部評価が的はずれ、方向性の見誤りとなる恐れがある。」とか「平成27年度の事業についての評価を、平成28年度の事業が半ばを過ぎようとしている“今”行うことは非常に難しい感があります。やはり、同じ時期に行うのであれば、平成28年度の進捗状況と合わせて評価すべきではないでしょうか。」という記載がありました。

そこで、今回の事務点検評価を行う際、平成29年度の進捗状況も資料として提示して頂きました。それが点検評価活動では大いに役立ち、平成28年度の評価結果の妥当性に好影響を与えたよ

うな気がします。

ただ、今回の「事務の点検及び評価に関する報告書」には平成29年度の進捗状況は記載されません。結果として、報告書を読む人には分かりづらい点が生じたかもしれません。

「妥当性のある的確な点検・評価に必要な記載事項は何か。」「点検・評価の対象期間はどうか。」「1年間のタイムラグの解消策」など評価に関する課題も出てきたように思います。より確かな点検・評価を目指し、事業内容・実績の更なる充実・向上を願っています。

最後になりました。黒石市教育委員会事務点検評価委員の任期は2年です。今年度で私の役目は終わりです。ただ、今回、黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に携われたことで、「教育委員会の業務は、私たちの生活と密接に結びつき、私たちに多くの恩恵を与えてくれている。」ということを再認識することができました。心から感謝いたします。

そして、黒石市教育委員会の事業が「黒石市教育委員会は、心豊かにたくましく生きながら、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指す。」という教育施策の方針のもと、更に充実し着実に歩み続けることを心からお祈りし総括意見と致します。

事務点検・評価の結果全体を通して、それぞれの施策において、多岐にわたる課題の解決に向け計画的で多様な取組が行われており、総体として概ねその取組にふさわしい実績をあげている。今後の方向性についても、それぞれ適切に示されていると評価する。

以下、前回と同様に、場合によっては耳の痛い指摘になるかもしれないが、それはこの報告書がより充実したものになる一助となればとの思いであることをご了解願いたい。

平成28年度末から稼働した総合教育会議で、協議事項として教育大綱が策定され、次年度からこの点検評価に反映されると思うが、当該会議が活発に活動されるための有効な手段になると考えられる。そのためには、計画—実施—点検・評価—改善という、いわゆるPDCAサイクルが有効に働き、教育委員会事務の管理執行業務が効果的に行われているか、市民にわかりやすい報告書になっているかの大きく2点が重要と考える。そもそも、事務の点検評価は反省だけではなく、今後の教育委員会の事務（施策）の改善が主であると考えれば、この事務点検評価は、次年度の施策に反映させるべきというところを今一度検討していただきたい。

次に、点検評価表について、前回も述べたが、「成果」の記載が一部明確になっていない。どのような状況の中で出されたものなのかの説明が十分なされていないと断言は難しい。「成果が認められる」との表記で「どのような成果なのか」の説明がない。点検評価の方法の中では、「実施した事業を適切に内部評価したか」について、評価委員が評価することになっている。点検評価の中に「成果」欄が独立してあることが望ましい。「成果」にこだわるのは、事業の目的が明確になっていないと達成状況の分析も曖昧になり、結果として開催回数や参加人数にとらわれがちになる傾向が高いからである。「重点施策4つの柱」に対し、「施策」は必要かつ十分なのか、さらに「施策」に対し、各事業は必要かつ十分なのか研究する必要があると感じる。

点検評価は市民への説明責任を果たすとともに、次年度の改善に結び付く実効性のあるものでなければならない。そのため、「成果」、「今後の課題」、「取り組みの方向性」が分かりやすく、説得力が必要である。施策や事業の継続性から前年度と全く同じ内容になる場合もあると思うが、説得力という点から一層の吟味を願う。

最後に、上記と重複する部分もあるが、今後の黒石市教育行政のより一層の充実を期待し、次の3点に留意されるよう要望する。

- ① 点検評価について、毎年、充実を図られているが、一部の事業で改善がなされているとは言い難いものも見受けられる。教育委員会の事務を質的に高め、着実に事業の効果をあげる観点から、さらなる改善に努めることを期待する。
- ② 教育委員会の重点的な事業や特色ある取り組み等に関して、市民に十分に伝わっているかどうかについて日頃から気を配り、市民への効果的な周知・PRのあり方について研究と改善に努めることを期待する。
- ③ 28年度末に策定された教育大綱に基づき、様々な課題に対して着実に取り組みを進めるためにも、自己点検評価を充実させ、効果的な施策展開がなされるよう一層努力されることを期待する。

現代社会は、地球温暖化をはじめとする環境問題への対応、少子・高齢社会における福祉の在り方など「持続可能な社会をどのように構築するのか」という大きな課題を抱え、解決に向けて官民が一体となった取り組みを加速させています。また、国際化、情報化に伴う社会・経済のグローバル化が急速に進む中で、今後ますます重要となる国際協力に対応できる人材育成と体制整備が求められています。

このように、国民の参加・協力が必要とされるさまざまな課題に直面する現状において、学校教育には“21世紀を切り拓く心豊かでたくましい日本人の育成”を目指すために、個人としての自立を促し、個性や能力を伸ばしながら可能性を開花させるための基礎を養うことが重要な役割であると謳われています。

一方において、生活様式や働き方をはじめとする社会環境の変化に伴い、家庭や社会における教育力が低下し、地域におけるコミュニティの再生、それに伴う人材の育成、家庭教育への支援など社会教育の取り組みが今後一層重要な役割を果たします。

このような中で、施策の最重要課題として地域コミュニティの充実を掲げ、地域の在り方に大きな影響を与える小・中学校の統廃合が本格的にスタートした黒石市の教育行政は大きな転換期を迎えています。一つひとつの事業を拝見しながら、すべてが市民の期待と注目を集めていること、事業をとおして住民と正面から向き合う職員の責任の重さを感じました。

平成28年度の事業については、前年度の評価や反省を踏まえ効果や成果を得るための工夫や努力が事業実績や自己評価をとおして伝わり、関わった者として嬉しく思います。それ故、職員が多忙な日常業務の中で行う「自己評価」が、教育委員会の事業や地域の教育力向上に少しでも役立つことを願い、実施事業について評価させていただきました。

- 当該年度における教育委員会の事業計画は、重点施策4つの柱を軸とした各施策に基づいて具体的な事業が構成されています。各施策の中には施設を整備した上で「××としての活用を図る」「××機能の充実を図る」など、一步踏み込んだ内容もあります。その点についても、事業計画策定段階から意識することで整合性が図られると思います。
- 事業実績について、実施事業のみを明記している事業、一定の成果等を記入している事業など担当課によって記載方法が若干異なります。公表を前提に考えると、何らかのコメントを記載する方が市民にわかりやすい印象を与えると思います。
- 自己評価については、前年度から基準が多少変更されました。「A」評価の基準にある「期待どおり」「期待以上」についての基本的な考え方を統一するなど、自己評価の信憑性を高める取り組みに期待します。
- 評価理由について、公民館の指定管理における管理者・職員の理解を例にあげると、ある項目では「助言により適正に支出されている」、他の項目では「維持管理及び運営に関して未だ詳しく理解していない」と記載されており、整合性が図られない項目がいくつか見受けられます。担当課間、担当者間における確認を充分行うようお願いします。

以上、評価の記入内容等について特に気になる点をいくつかあげましたが、前年と比較して、校長の年度末評価、児童・生徒のアンケート、参加者・利用者のアンケートなど評価理由の根拠について明確にしている項目が増えたことによって、自己評価の信憑性が飛躍的に高まった印象を受けました。教育行政に関する一つひとつの事業に真摯に向き合う職員の姿勢に感心すると同時に、年々、自己評価の精度が高まっていることに感謝いたします。

この事務点検及び評価は、市民に公表することを前提としています。すなわち、実施した自己評価や作成した報告書が市民の目に触れることを各職員が理解し、文言、根拠、表記方法などが、特定の関係者に向けたものではなく一般市民の目線に立ったものであることを期待して総評に代えます。